

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第1学年	東京書籍「All Aboard!」 「BRIDGE WORKBOOK」 「コーパス 1800」

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・コミュニケーション英語Ⅰでは、聞いたり読んだりしたことをもとに、その内容や考えを理解するとともに、自分の感じたことや意見を伝えられるように関心をもって読むことを心がける。
- ・語彙、文法については、コミュニケーションや読解、英作で活用することを意識して学習する。
- ・音読では、英語の発音を学ぶとともに相手に伝えることをイメージしながら、積極的に取り組む。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第1学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」(3単位)

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
自己紹介や自身の感情など、決まった簡単なフレーズを使用し、相手に意図を伝えることができる。	コミュニケーション英語Ⅰ ・意見交換や音読の取組状況 英語会話 ・暗唱、発表	簡単なフレーズを使って、自己紹介、日常の身近な出来事を表現することができる。	コミュニケーション英語Ⅰ ・定期考査 英語会話 ・定期考査 ・ワークシートの内容と取組状況	自己紹介や簡単な対話文をゆっくり話されるとその場の状況や動作を判断、理解することができる。	コミュニケーション英語Ⅰ ・言語活動での取組状況 英語会話 ・リスニングテスト ・定期考査	日常生活の身近な単語で書かれた短文の内容を理解する。初歩的な英文の中から、日付、場所など簡単な情報を読みとることができる。	コミュニケーション英語Ⅰ ・定期考査 英語会話 ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしようとする。積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 ・言語活動、意見交換など ・暗唱、発表	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、適切に書き、伝えている。 ・定期考査 ・課題の取組み内容や提出状況	説明や物語などを読んだり聞いたりして、情報や考えなどを的確に理解している。また、聞き手に伝わるように音読する。 ・定期考査 ・リスニングテスト	英語の学習を通じて、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。 ・定期考査において内容を問う問題を出題

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとにより評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
All Aboard! Warm-Up BRIDGE WORKBOOK Warm-Up (8時間)	◆アルファベット ◆可算・不可算名詞 ◆人称代名詞 ◆形容詞、副詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)		
		「外国語表現の能力」				英文を発表させ、その内容を理解度と取組状況の判断材料にする。
		可算・不可算名詞、人称代名詞、形容詞・副詞について理解し、適切な英文を書くことができる。	可算・不可算名詞、人称代名詞、形容詞・副詞を用いて英文を書く。	可算・不可算名詞、人称代名詞、形容詞・副詞を英文の中で適切に使うことができるか。		
		「外国語理解の能力」				
		(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)		
「言語や文化についての知識・理解」				ワーク提出を取組状況の判断材料とする。定期考査において、学習内容を問う出題により、知識が身についているかを判断する。		
可算・不可算名詞、人称代名詞の使い方を理解する。形容詞・副詞の働きと使い方を理解する。	ワークの穴埋め、並べかえ、空欄補充などの問題を解く。	可算・不可算名詞、人称代名詞の使い方、形容詞・副詞の働きと使い方を理解しているか。				
All Aboard! Pre-Lesson 1、2 BRIDGE WORKBOOK Pre-Lesson 1、2 (10時間)	自己紹介 ◆現在形：be 動詞 一般動詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		友人の自己紹介を聞き、内容を理解できる。	ペアで自己紹介をし、相手の自己紹介について分かったことをメモにまとめる。	ペアワークにおいてお互いに協力しながら会話ができている。	ペアでの言語活動を観察し、積極的に参加しているかを判断材料とする。	
		「外国語表現の能力」				自己紹介文を提出させ、その内容を取組状況の判断材料とする。 ◆be 動詞、一般動詞を用いた英文の発表。
		自己紹介文を書く。 ◆現在形の be 動詞、一般動詞を用いて適切な英文を書く。	Communication①に従ってメモを取り、自己紹介文を書く。 ◆現在形の be 動詞、一般動詞を使った英文を書く。 ◆音読練習。	自己紹介文が適切な表現で書けているか。 ◆現在形の be 動詞、一般動詞が適切に使えているか。		
		「外国語理解の能力」				定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		結衣とジャックの自己紹介の中で述べられていることについて理解する。	結衣とジャックの自己紹介を読み、分かったことをメモにまとめ、内容を把握する。 ペアで音読する。	自己紹介の内容について正確に理解できているか。		
「言語や文化についての知識・理解」				定期考査において、現在形の be 動詞、一般動詞が理解できているかを判断する。 ◆ワークの提出。		
現在形の be 動詞、一般動詞の使い方を理解する。	本文中で用いられている現在形の be 動詞、一般動詞の形や意味を確認する。 ◆ワークで練習問題に取り組む。	現在形の be 動詞、一般動詞の使い方が理解できているか。				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
コーパス 1800 (2時間)	#288～#377	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		単語を正しく発音することができる。	全体、ペアでの音読練習。	正しく発音できているか。	音読練習に取り組んでいるか。 名前を指名し、発音を促す。	
		「外国語表現の能力」 (本単元では設定しない。)				
		テキストの例文でその単語の使い方を確認する。	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)		
		「外国語理解の能力」 (本単元では設定しない。)				
		(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)		
「言語や文化についての知識・理解」						
	語彙力をつけ、英文読解、英作で使える。	フラッシュカードを使って、発音と意味を確認する。 ワークシートを使って練習する。	語彙力が身についているか。	ワークシートの提出と小テストにより、取組状況の判断材料とする。 定期考査において、定着をみる。		
All Aboard! Lesson 1 BRIDGE WORKBOOK Lesson 1 (8時間)	モンゴルとアイスランドに住む人が、住居について紹介する内容。 ◆過去形	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		モンゴル、アイスランドについて持っている知識やイメージを積極的に話す。	本文を読む前に、モンゴル、アイスランドについて持っている知識やイメージをペアで伝え合う。	ペアワークにおいて、お互いに協力しながら会話ができているか。	ペアでの言語活動を観察し、積極的に会話しているか。	
		「外国語表現の能力」				
		身のまわりのことについて英語で述べることができる。 ◆過去形を用いて適切な英文を書く。	Let's Try の Step に従って英文を書く。 ◆過去形を使った英文を書く。 ◆音読練習	表現したいことを適切に書くことができるか。 ◆過去形を使って適切に英文を書くことができるか。	英文を発表させ、その内容により理解度と取組状況の判断材料とする。 ◆英文を発表させ、その内容と取組み状況で判断。	
		「外国語理解の能力」				
	どのような家に住み、どのような生活を送っているかについて読み取り理解する。	単語と Reading Point を確認しながら、住居やその生活について読んだことを理解する。 ペアで音読する。 英問に英答する。	どのような家に住み、どのような生活を送っているかについて読んだ内容を理解できているか。	定期考査において内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。		
「言語や文化についての知識・理解」						
	過去形の使い方を理解する。	本文中の過去形について意味や用法を確認し、Exercises を解く。 ◆ワークで練習問題に取り組む。	過去形の使い方が理解できているか。	定期考査において、学習内容を問う出題により、知識が身についているかを判断する。 ◆ワークの提出。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
コーパス 1800 (2時間)	#378～#467	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		単語を正しく発音することができる。	全体、ペアでの音読練習。	正しく発音できているか。	音読練習に取り組んでいるか。 名前を指名し、発音を促す。	
		「外国語表現の能力」				
		(本単元では設定しない。)	テキストの例文でその単語の使い方を確認する。	(本単元では設定しない。)		
		「外国語理解の能力」				
		(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)		
「言語や文化についての知識・理解」						
		語彙力をつけ、英文読解、英作で使える。	フラッシュカードを使って、発音と意味を確認する。 ワークシートを使って練習する。	語彙力が身につけているか。	ワークシートの提出と小テストにより、取組状況の判断材料とする。 定期考査において、定着をみる。	
All Aboard! Lesson 2 BRIDGE WORKBOOK Lesson 2 (10時間)	好きな人物についてスピーチする形式で錦織圭を紹介する内容。 ◆進行形	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		ある人物について、友人がスピーチするのを見て、内容を理解する。	ペアで、好きな人物についてのスピーチを伝え合う。聞き取った情報をワークシートにメモし、まとめる。	ペアワークにおいて、お互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察し、積極的に参加しているかを判断材料とする。 ワークシートの提出。	
		「外国語表現の能力」				
		好きな人物について英語で述べるができる。 ◆進行形を用いて適切な英文を書く。	Let's Try! の Step に従って、好きな人物についてスピーチを書く。 ◆進行形を使って英文を書いてみる。 ◆音読練習	自分の好きな人物について適切な表現で書けているか。 ◆進行形の使い方を理解できているか。	スピーチを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とする。 ◆英文を発表させ、その内容と取り組み状況により判断。	
		「外国語理解の能力」				
		健がスピーチの中で好きな人物として錦織圭さんについてどんなことを述べているのか読み取る。	単語を Reading Point を確認しながら、スピーチの内容を理解する。 ペアで音読する。 英問に英答する。	健がスピーチの中で好きな人物として錦織圭さんについて述べていることを理解する。	定期考査において内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	
「言語や文化についての知識・理解」						
		進行形の使い方を理解する。	本文中の進行形について意味や使い方を確認し、Exercises を解く。 ◆ワークで練習問題に取り組む。	進行形の使い方が理解できているか。	定期考査において、学習内容を問う出題により、知識が身につけているかを判断する。 ◆ワークの提出。	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
All Aboard! Lesson 3 BRIDGE WORKBOOK Lesson 3 (8 時間)	世界に羽ばたく日本文化として日本のマンガを会話形式で紹介する内容。 ◆助動詞 will、can	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		世界に広がる日本文化について、知っていること、イメージについて話す。	世界に広がる日本文化について、知っていること、イメージについてペアで意見交換する。	意見交換の場で、積極的に発言、また相手の話を聞いているか。	ペアでの言語活動を観察し、積極的に参加しているかを判断材料とする。
		「外国語表現の能力」			
		日本文化について英語で説明することができる。 ◆助動詞を使い、適切に英文を書くことができる。	Let's Try! の Step に従って、日本文化について説明する英文を書く。 ◆助動詞を使って英文を書く。	日本文化について説明する文を書くことができたか。 ◆助動詞の意味、使い方を理解しているか。	スピーチを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とする。 ◆英文を発表させ、その内容と取組み状況により判断。
		「外国語理解の能力」			
		日本のマンガ、そして文化が世界にどのように広がっているのかを読んで理解する。	単語と Reading Point を確認しながら、世界における日本のマンガ、文化について理解する。 英問に英答する。	日本のマンガ、そして文化が世界にどのように広がっているのか、読んだことを理解する。	定期考査において内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
助動詞 will、can の使い方を理解する。	本文中の will、can について意味や使い方を確認し、Exercises を解く。 ◆ワークの練習問題に取り組む。	助動詞 will、can の使い方を理解しているか。	定期考査において、学習内容を問う出題により、知識が身についているかを判断する。 ◆ワークの提出。		
コーパス 1800 (2 時間)	#468～#557	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		単語を正しく発音することができる。	全体、ペアでの音読練習。	正しく発音できているか。	音読練習に取り組んでいるか。 名前を指名し、発音を促す。
		「外国語表現の能力」			
		(本単元では設定しない。)	テキストの例文でその単語の使い方を確認する。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	
「言語や文化についての知識・理解」					
語彙力をつけ、英文読解、英作で使える。	フラッシュカードを使って、発音と意味を確認する。 ワークシートを使って練習する。	語彙力が身についているか。	ワークシートの提出と小テストにより、取組状況の判断材料とする。 定期考査において、定着をみる。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
All Aboard! Lesson 4 BRIDGE WORKBOOK Lesson 4 (8 時間)	南米ボリビアのウユニ塩原についてメールを通して紹介する内容。 ◆to 不定詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、会話し、その内容を理解する。	行ってみたい場所について、ペアで伝え合う。 分かったことをワークシートにメモし、まとめる。	ペアワークにおいて、お互いに協力しながら会話する。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とする。
		「外国語表現の能力」			
		行ってみたい場所について英語で述べることができる。 ◆to 不定詞を用いて適切な英文を書く。	Let's Try! の Step に従って、行ってみたい場所について英文を書く。 ◆to 不定詞を使って英文を書いてみる。 ◆音読練習。	行ってみたい場所についての情報を適切に表現できるか。 ◆to 不定詞が英文の中で適切に使っているか。	英文を提出させ、その内容を取組状況の判断材料とする。 ◆ to 不定詞を用いた英文を発表させ、その内容と取り組み状況により判断。
		「外国語理解の能力」			
		ウユニ塩原はどんな場所で、また多くの人が訪れる理由を読んで理解する。	Reading Point に答えながら、ウユニ塩原について、また多くの人が訪れる理由を理解する。 英問に英答する。	ウユニ塩原はどんな場所で、また多くの人が訪れる理由を読んで理解することができる。	定期考査において内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
to 不定詞の使い方を理解する。	本文中の to 不定詞の意味、用法を確認し、Exercises を解く。 ◆ワークの問題に取り組む。	to 不定詞の使い方を理解できたか。	定期考査において、学習内容を問う出題により、知識が身についているかを判断する。 ◆ワークの提出。		
All Aboard! Lesson 5 BRIDGE WORKBOOK Lesson 5 (8 時間)	将来の夢について考える。 北海道帯広農業高校の生徒を紹介する内容。 ◆動名詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		好きなこと、やりたいこと、将来の夢についてペアで会話をする。	将来の夢についてペアで伝え合う。	ペアワークにおいて、お互いに協力しながら会話する。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		将来の夢について英語で書く。 ◆動名詞を用いて適切な英文を書く。	Let's Try! の Step に従って、将来の夢について書く。 ◆動名詞を用いた英文を書く。 ◆音読練習。	将来の夢について英語で表現することができるか。 ◆動名詞を用いて適切な英文が書けているか。	英文を提出させ、その内容を取組状況の判断材料とする。 ◆動名詞を使った英文を発表させ、その内容と取り組み状況より判断。
		「外国語理解の能力」			
		帯広農業高校の生徒の将来の目標と、学んでいることについて読んで理解する。	Reading Point に答えながら、帯広農業高校の生徒の将来の目標と、学んでいることについて読む。 英問に英答する。	帯広農業高校の生徒の将来の目標と、学んでいることについて読んで理解しているか。	定期考査において内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
動名詞の使い方について理解する。	本文中で使われている動名詞の意味、用法を確認し、Exercises を解く。 ◆ワークで練習問題に取り組む。	動名詞の意味、使い方を理解している。	定期考査において、動名詞の使用場面と働きを意識した問いを出題する。 ◆ワークの提出。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
コーパス 1800 (2時間)	#558～#647	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		単語を正しく発音することができる。	全体、ペアでの音読練習。	正しく発音できているか。	音読練習に取り組んでいるか。 名前を指名し、発音を促す。	
		「外国語表現の能力」 (本単元では設定しない。)				
		テキストの例文でその単語の使い方を確認する。	(本単元では設定しない。)			
		「外国語理解の能力」 (本単元では設定しない。)				
		(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)		
「言語や文化についての知識・理解」						
		語彙力をつけ、英文読解、英作で使える。	フラッシュカードを使って、発音と意味を確認する。 ワークシートを使って練習する。	語彙力が身についているか。	ワークシートの提出と小テストにより、取組状況の判断材料とする。 定期考査において、定着をみる。	
All Aboard! Lesson 6 BRIDGE WORKBOOK Lesson 6 (8時間)	奇想天外な浮世絵師、歌川国芳が描いた浮世絵を紹介する内容。 ◆受け身	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		好きな絵や写真について話すことができる。	好きな絵や写真についてペアで伝え合う。 聞き取った情報をワークシートにメモし、まとめる。	ペアワークにおいて、お互い協力しながら会話することができるか。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容により取組状況の判断材料とする。	
		「外国語表現の能力」				
		好きな絵や写真について表現することができる。 ◆受け身を用いて適切な英文を書くことができる。	Let's Try! の Step に従って、好きな絵や写真について英文を書く。 ◆受動態を用いた英文を書く。 ◆音読練習。	好きな絵や写真について適切な英文で表現できている。 ◆受動態の形を理解し、正しく表現できているか。	英文を発表させ、その内容により、取組状況の判断材料とする。	
		「外国語理解の能力」				
	浮世絵師、歌川国芳が描いた浮世絵にはどんなものがあるか、読んで理解する。	Reading Point に答えながら、歌川国芳が描いた浮世絵について読み、内容を理解する。 英問に英答する。	浮世絵師、歌川国芳が描いた浮世絵について読んだこと内容を理解できたか。	定期考査において内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。		
「言語や文化についての知識・理解」						
	受け身の使い方を理解する。	本文中の受け身の意味と用法を確認し、Exercises を解く。 ◆ワークの練習問題を解く。	受け身の使い方を理解できているか。	定期考査において、受け身の使用場面と働きを意識した問いを出題する。 ◆ワークの提出。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
コーパス 1800 (2時間)	#648～#827	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		単語を正しく発音することができる。	全体、ペアでの音読練習。	正しく発音できているか。	音読練習に取り組んでいるか。名前を指名し、発音を促す。	
		「外国語表現の能力」				
		(本単元では設定しない。)	テキストの例文でその単語の使い方を確認する。	(本単元では設定しない。)		
		「外国語理解の能力」				
(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)				
「言語や文化についての知識・理解」						
語彙力をつけ、英文読解、英作で使える。	フラッシュカードを使って、発音と意味を確認する。ワークシートを使って練習する。	語彙力が身についているか。	ワークシートの提出と小テストにより、取組状況の判断材料とする。定期考査において、定着をみる。			

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第2学年	All Aboard! English Communication I All Aboard! English Communication II コーパス 1800 (東京書籍)

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・第1学年時の「コミュニケーション英語Ⅰ」より、宿題および単語テストが引き継がれます。家庭学習にしっかり取り組んで、1つでも多くの語彙を定着させましょう。
- ・プレゼンの時間では、自身で身近な事柄を取り上げながら文を作って発表できるようになりましょう。
- ・音読・発音練習は毎時間取り組む大切な学習方法です。積極的に参加しましょう。
- ・教科書本文の内容を理解するとともに、自国や海外の文化に触れながら、知識を深めていきましょう。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」(3単位) 及び

「英語読解基礎」(2単位) もしくは「英語総合」(2単位)

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
1. 単語・語句のレベルでイントネーション・アクセントの違いに注意しながら音読することができる。 2. 英文をスラッシュに分け、文の意味を理解し教員の後について正しく音読することができる。 など	コミュ英Ⅱ 音読テスト スピーチ 英語読解 音読テスト 英語総合 音読テスト	1. 復習した中学レベルの英単語のつづりを書くことができる。 2. 日常の身近な出来事を3文程度の短い文で表現することができる。 など	コミュ英Ⅱ 単語テスト 定期考査 英語読解 定期考査 英語総合 定期考査	1. 教室や日常の中で交わされる簡単な質問や対話を聞き、おおまかな意味を理解することができる。 2. 簡単な質問文を複数回聞けば理解することができる。 など	コミュ英Ⅱ DVD リスニングテスト 英語読解 定期考査 英語総合 定期考査	1. 日常的な質問文を読み、理解することができる。 2. 短いメモやポスター・チラシを読み、概要を理解することができる。 など	コミュ英Ⅱ 音読テスト 定期考査 英語読解 音読テスト 定期考査 英語総合 音読テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	授業内で英語を積極的に使おうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	背景にある文化や言語の知識を理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (7時間)	国際宇宙ステーションの船長となった若田光一さんについての情報を読み、船長の重要な職務に対する若田さんの考えを学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 発問に対して積極的に答える。 ISSについて知識を深め、知っていることや感じたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各セクションを読む前に、ISSについて知っていることを、ペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動を観察する。 ワークシートを提出させる。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ISSについて知っていることを話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 各セクションの本文内容を口頭で確認する。 本文を要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭で、内容を説明することができる。 本文内容を要約することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内で発問し、解答しているか確認する。 ワークシートを提出させる。
		「外国語理解の能力」			
<ul style="list-style-type: none"> ISSでの暮らしについて読んだことを理解する。 ISSについての知識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ISSについての本文を通して概要を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容について、読んだことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文確認テスト、定期テストで確認する。 		
「言語や文化についての知識・理解」					
	<ul style="list-style-type: none"> 受け身、現在完了形、itの用法の表現を習得し、自分で表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 受け身、現在完了形、itの用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 受け身、現在完了形、itの使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト、単語テストにおいて、知識が身についているかを判断する。 	
Lesson 9 (8時間)	第二次世界大戦後の沖縄の惨状とそれを救おうとしたハワイの沖縄出身の日系アメリカ人について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 自分と世界の結びつきを深めるためにできることについて、間違うことを恐れずに発表できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と世界の結びつきを深めるためにできることについて、英語で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違いを恐れず、積極的に関係代名詞を使おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内の発問に対して積極的に解答している様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 人や物について説明し、聞き手に正確に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と世界の結びつきを深める活動に対する自分の考えについて聞き手に正確に、かつ適切に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭で、内容を説明することができる。 本文内容を要約することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内で発問し、解答しているか確認する。 ワークシートを提出させる。
		「外国語理解の能力」			
<ul style="list-style-type: none"> 要点や概要を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の沖縄の惨状とハワイの沖縄出身の日系アメリカ人による支援について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容について、読んだことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文確認テスト、定期テストで確認する。 		
「言語や文化についての知識・理解」					
	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の使い方を理解する。 助動詞が使われる文と使われない文の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞の用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 例示する関係代名詞の使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。 	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (9時間)	学校で教育を受ける権利を求めて立ち上がった少女マララさんと彼女の考えについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・マララさんと彼女の考えについて関心をもち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・地域の問題点とその改善方法について発表する。	・グループワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。	・言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・ディック・ブルーナーや世の中の社会的貢献について知っていることを話す。	・各セクションの本文内容を口頭で確認する。 ・本文を要約する。	・口頭で、内容を説明することができる。 ・本文内容を要約することができる。	・授業内で発問し、解答しているか確認する。 ・授業内においてインタビューテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
・地域の問題点とその改善方法に対する自分の考えについて読んだことを理解する。	・地域の問題点とその改善方法について発表する。	・本文内容について、読んだことを理解することができる。	・本文確認テスト、定期テストで確認する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
・比較表現の使い方を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・比較表現の使い方を理解している。	・定期テスト、単語テストにおいて、知識が身についているかを判断する。		
Lesson 1 (9時間)	イタリアとフィリピンの2つの祭りに関する発表について読み、その特徴や共通点を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・身近な行事について英語で述べる。	・身近な行事について間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。	・ペアワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。 ・感想が書けている。	・授業内の発問に対して積極的に解答している様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	・各セクションの本文内容を口頭で確認する。 ・本文を要約する。	・口頭で、内容を説明することができる。 ・本文内容を要約することができる。	・授業内で発問し、解答しているか確認する。 ・授業内においてインタビューテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
・聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解する。	・2つの祭りに比較して読み、それぞれの特徴や共通点を正確に理解する。	・本文内容について、読んだことを理解することができる。	・本文確認テスト、定期テストで確認する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
・祭りや行事の説明に用いられる語句や表現について理解する。	・比較表現についての基本的な知識を身につける。	・例示する比較級の使い方を理解している。	・定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 2 (9時間)	ダンサーの菅原小春さんについて読み、世界で活躍するまでの道のりについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				<ul style="list-style-type: none"> 言語活動を観察する。 感想文の取り組み状況を判断材料とする。
		<ul style="list-style-type: none"> 自分がどういう人物なのか英語で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 菅原小春さんという人物と世界で活躍するまでの道のりについて感心をもち、積極的に聞いたり読んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。 		
		「外国語表現の能力」				
		<ul style="list-style-type: none"> 聞いたり読んだりした内容について英語で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 各セクションの本文内容を口頭で確認する。 本文を要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭で、内容を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内で発問し、解答しているか確認する。 授業内においてインタビューテストを実施する。 	
		「外国語理解の能力」				
<ul style="list-style-type: none"> 聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文を要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容について、読んだことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文確認テスト、定期テストで確認する。 			
「言語や文化についての知識・理解」						
	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞：whatの表現を習得し、自分で表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 whatの用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 whatの使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト、単語テストにおいて、知識が身についているかを判断する。 		
Lesson 3 (8時間)	天然記念物で日本の固有種であるヤマネと、その生息環境について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				<ul style="list-style-type: none"> 言語活動を観察する。 感想文の取り組み状況を判断材料とする。
		<ul style="list-style-type: none"> 野生動物と自然環境について英語で述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生息数が減少している生物について間違えることを恐れずに書いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。 感想が書けている。 		
		「外国語表現の能力」				
		<ul style="list-style-type: none"> 聞いたり読んだりした内容について英語で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 野生動物や自然環境について適切な表現を用いて書いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭で、内容を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内で発問し、解答しているか確認する。 授業内においてインタビューテストを実施する。 	
		「外国語理解の能力」				
<ul style="list-style-type: none"> 聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ヤマネが絶滅しかけている理由を正確に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文内容について、読んだことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文確認テスト、定期テストで確認する。 			
「言語や文化についての知識・理解」						

		<ul style="list-style-type: none">・ 間接疑問文を理解する。	<ul style="list-style-type: none">・ 間接疑問文の使い方を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・ 例示する関節疑問文の使い方を理解している。	<ul style="list-style-type: none">・ 定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
--	--	---	---	---	---

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 4 (10時間)	科学技術発達の例としてロボットについて読み、未来の生活について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を観察する。 ・感想文の取り組み状況を判断材料とする。
		<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発達と未来の社会について英語で述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発達と未来の社会について、適切な表現を用いて自分の考えを書いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。 		
		「外国語表現の能力」				
		<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたたり読んだりした内容について英語で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発達と未来の社会について、適切な表現を用いて自分の考えを書いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭で、内容を説明することができる。 ・本文内容を要約することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で発問し、解答しているか確認する。 	
		「外国語理解の能力」				
<ul style="list-style-type: none"> ・概要や要点を正確に捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについての賛成・反対の考えとその理由を正確に聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容について、読んだことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストで確認する。 			
「言語や文化についての知識・理解」						
		<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を後ろから説明する分詞についての基本的な知識を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を後ろから説明する分詞の用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を後ろから説明する分詞の使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、単語テストにおいて、知識が身についているかを判断する。 	
Lesson 5 (9時間)	日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を観察する。 ・感想文の取り組み状況を判断材料とする。
		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化について英語で述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隈取のデザインについて間違うことを恐れず書いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。 ・感想が書けている。 		
		「外国語表現の能力」				
		<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたたり読んだりした内容について英語で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が考えた隈取のデザインについて適切な表現を用いて書いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭で、内容を説明することができる。 ・本文内容を要約することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で発問し、解答しているか確認する。 	
		「外国語理解の能力」				
<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隈取のデザインの特徴を正確に聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容について、読んだことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストで確認する。 			
「言語や文化についての知識・理解」						
		<ul style="list-style-type: none"> ・to不定詞を含む表現の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・to不定詞を含む表現の用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・to不定詞を含む表現についての基本的な知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。 	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (7時間)	世界遺産グレートバリアリーフについてのプレゼンテーションを通して、それが直面する問題について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・未来に残したい場所や景色について英語で述べる。	・未来に残したい場所や景色について、間違うことを恐れずに書いたり話したりする。	・個人で意見を出そうとしている。 ・感想文が書けている。	・言語活動を観察する。 ・感想文の取り組み状況を判断材料とする。
		「外国語表現の能力」			
		・聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	・未来に残したい場所や景色について自分の考えを書いたり話したりする。	・口頭で、内容を説明することができる。 ・本文内容を要約することができる。	・授業内で発問し、解答しているか確認する。 ・ワークシートを提出させる。
		「外国語理解の能力」			
・聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解する。	・グレートバリアリーフの直面する問題の詳細を読み取る。	・本文内容について、読んだことを理解することができる。	・本文確認テスト、定期テストで確認する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
・動詞の目的語になるif節の使い方を理解する。	・動詞の目的語になるif節の用法を確認する。	・動詞の目的語になるif節の使い方を理解している。	・定期テスト、単語テストにおいて、知識が身についているかを判断する。		
Lesson 7 (8時間)	福島県いわき市とフラダンスとの関係について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・身のまわりの人を励ますためにできることについて、英語で述べる。	・人を励ますためにできることについて、間違うことを恐れずに書いたり話したりする。	・ペアワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。 ・感想が書けている。	・授業内の発問に対して積極的に解答している様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	・人を励ますためにできることについて、適切な表現を用いて書いたり話したりする。	・口頭で、内容を説明することができる。 ・本文内容を要約することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
・聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解する。	・フラダンスに対する高校生の考えを読み取る。	・本文内容について、読んだことを理解することができる。	・本文確認テスト、定期テストで確認する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
・知覚動詞の使い方を理解する。	・知覚動詞について基本的知識を身につける。	・知覚動詞の使い方を理解している。	・定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (7時間)	イギリスを訪れた結衣からのメールを読んで、コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分の好きな場所について英語で述べる。	・自分の好きな場所について、間違うことを恐れずに書いたり話したりする。	・グループワークにおいて、協力しながら、意見を出し合っている。	・言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させる。
		「外国語表現の能力」			
		・聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	・自分の好きな場所について適切な表現を用いて書いたり話したりする。	・口頭で、内容を説明することができる。 ・本文内容を要約することができる。	・授業内で発問し、解答しているか確認する。 ・ワークシートを提出させる。
		「外国語理解の能力」			
・聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確に理解する。	・イギリスで訪れた場所に対する結衣の感想を読み取る。	・本文内容について、読んだことを理解することができる。	・本文確認テスト、定期テストで確認する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
・関係副詞の使い方を理解する。	・関係副詞の意味や用法を確認する。	・関係副詞の使い方理解している。	・定期テスト、単語テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第3学年	All Aboard!Ⅱ (東京書籍) コーパス 1800 (東京書籍)

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・第2学年時の「コミュニケーション英語Ⅱ」より、宿題および単語テストが引き継がれます。家庭学習にしっかり取り組んで、1つでも多くの語彙を定着させましょう。
- ・音読・発音練習は、コミュニケーション・ツールとして英語を習得する上で、大切な学習方法です。積極的に参加しましょう。
- ・教科書本文の内容を理解するとともに、海外の文化への知識を深め、身の回りの生活との関連を考えていきましょう。
- ・単語や文法の学習では、宿題への取り組みはもとより、繰り返し復習するようにしましょう。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」(3単位) 及び「英語表現Ⅰ」(2単位)

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・英文を句ごとに分け、文の意味を理解しながら音読することができる。 ・気持ちをこめて相手に分かりやすく暗唱することができる。 ・学習してきた中学レベルの文法項目を使い、簡単な対話を行うことができる。 	コミュ英Ⅱ 暗唱テスト スピーチ インタビューテスト 英語表現Ⅰ インタビューテスト スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習してきた中学レベルの文法項目を使用し、自身の考えや身近な事象に関して、限られた英文を書くことができる。 ・教科書の内容について、本文中の語句を使用して要約を書くことができる。 ・身近な内容を50語程度で書くことができる。 	コミュ英Ⅱ ライティングテスト 定期考査 英語表現Ⅰ ライティングテスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・学習済みの200語程度のまとまった英文を聞き、80%以上理解することができる。また、相手の発音した文を理解し、瞬時にリピートすることができる。 ・生徒同士でリピートし合い、様々な発音に対応できるようになる。 	コミュ英Ⅱ リスニングテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で扱っている250語程度の英文を辞書を使用して概要を理解することができる。 ・すでに学習した内容について意味を理解して読むことができる。また、相手にわかりやすいように音読することができる。 	コミュ英Ⅱ 定期考査 音読テスト

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	活動の観察 ノートやプリント	インタビューテスト スピーチ 暗誦テスト 筆記テスト ワークシート	筆記テスト ワークシート 音読テスト	筆記テスト ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習内容	評価方法
Lesson 6 (8時間)	世界遺産グレートバリアリーフについてのプレゼンテーションを通して、それが直面する問題について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グレートバリアリーフとその直面する問題について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりする。	・グレートバリアリーフとその直面する問題について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・本文 ・Let's Try!	・Let's Try!の準備と取り組み姿勢
		「外国語表現の能力」			
		・聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	・聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。	・本文 ・Let's Try! ・Exercises	・Let's Try!の発表 ・Exercisesの確認
		「外国語理解の能力」			
		グレートバリアリーフについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえる。	グレートバリアリーフについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。	・本文 ・Reading Point ・Questions ・Reading Out ・Review Listening	Reading Point, Questions, Reading Out, Review Listeningの確認
「言語や文化についての知識・理解」					
グレートバリアリーフとその直面する問題について理解する。	グレートバリアリーフとその直面する問題について理解している。	・本文 ・Expressions ・Target ・Exercises	・Expressions, Exercisesの確認		
Lesson 7 (8時間)	福島県いわき市とフラダンスとの関係について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		いわき市の歴史とフラダンスとの関係について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりする。	いわき市の歴史とフラダンスとの関係について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・本文 ・Let's Try!	Let's Try!の準備と取り組み姿勢
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。	・本文 ・Let's Try! ・Exercises	・Let's Try!の発表 ・Exercisesの確認
		「外国語理解の能力」			
		いわき市の歴史とフラダンスとの関係について、聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえる。	いわき市の歴史とフラダンスとの関係について、聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。	・本文 ・Reading Point ・Questions ・Reading Out ・Review Listening	・Reading Point, Questions, Reading Out, Review Listeningの確認
「言語や文化についての知識・理解」					
いわき市の歴史とフラダンスとの関係について理解する。	いわき市の歴史とフラダンスとの関係について理解している。	・本文 ・Expressions ・Target ・Exercises	・Expressions, Exercisesの確認		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習内容	評価方法
Lesson 8 (8時間)	イギリスを訪れた結衣からのメールを読んで、コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		コッツウォルズ地方の風景や文化について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりする。	コッツウォルズ地方の風景や文化について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Let's Try! 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Try!の準備と取り組み姿勢
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Let's Try! ・Exercises 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Try!の英語でのEメール ・Exercisesの確認
		「外国語理解の能力」			
		コッツウォルズ地方の文化について聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえる。	コッツウォルズ地方の文化について聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Reading Point ・Questions ・Reading Out ・Review Listening 	<ul style="list-style-type: none"> ・Reading Point, Questions, Reading Out, Review Listeningの確認
「言語や文化についての知識・理解」					
コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルについて理解する。	コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Expressions ・Target ・Exercises 	<ul style="list-style-type: none"> ・Expressions, Exercisesの確認 		
Lesson 9 (8時間)	チョコレート原材料であるカカオ生産の裏側にある現実とフェアトレードシステムについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりする。	チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Let's Try! 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Try!の準備と取り組み姿勢
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Let's Try! 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Try!のグループワーク
		「外国語理解の能力」			
		チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて、聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえる。	チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて、聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Reading Point ・Questions ・Reading Out ・Review Listening 	<ul style="list-style-type: none"> ・Reading Point, Questions, Reading Out, Review Listeningの確認
「言語や文化についての知識・理解」					
チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて理解する。	チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・Expressions ・Target ・Exercises 	<ul style="list-style-type: none"> ・Expressions, Exercisesの確認 		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習内容	評価方法
Lesson 10 (8時間)	工業デザイナーのマスード・ハッサーニさんと彼のデザインしたマイン・カフォンについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて関心をもち、積極的に聞いたり読んだりする。	マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて関心をもち、積極的に聞いたり読んだりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・ Let's Try! 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Try!の準備と取り組み姿勢
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答える。	聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・ Let's Try! ・ Exercises 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Try!のペアワーク ・ Exercises の確認
		「外国語理解の能力」			
マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて、聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえる。	マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて、聞いたり読んだりしたことかから概要や要点を正確にとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・ Reading Point ・ Questions ・ Reading Out ・ Review Listening 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Reading Point, Questions, Reading Out, Review Listening の確認 		
「言語や文化についての知識・理解」					
マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて理解する。	マスード・ハッサーニさんとマイン・カフォンについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 ・ Expressions ・ Target ・ Exercises 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Expressions, Exercises の確認 		

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語会話	2	第1学年	三省堂「SELECT English Conversation」

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・英語会話では、言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・ペアワークやロールプレイでは設定場面を意識して行い、どのような場面で使われる表現なのか理解する。
- ・会話文や語彙の音読では、英語のリズムやイントネーションに気をつけ、相手に伝わるように心がける。
- ・T-NETの先生との授業では、英語だけでなく、その国や文化についても知ろう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第1学年】履修科目：「英語会話」（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の身近な単語や数字を相手に伝えることができる。 ・自己紹介や自分の感情など、決まった簡単なフレーズを使用し、相手に意図を伝えることができる。 	英語会話 ・ペアワーク ・インタビューテスト ・暗唱、発表 コミュニケーション英語Ⅰ ・ペアでの取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な単語・語句・短文を正確に書くことができる。 ・自分の趣味や好き嫌いを、簡単な単語を使って書くことができる。 	英語会話 ・定期考査 ・ワークシート ・ワークシートの取り組み内容 コミュニケーション英語Ⅰ ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や簡単な対話文をゆつくり話されると、その状況や、動作を判断・理解することができる。 ・ゆつくり話されると授業内の身近な指示を聞き理解することができる。 	英語会話 ・リスニングテスト ・定期考査 コミュニケーション英語Ⅰ ・言語活動の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の身近な単語の意味を理解することができる。 ・日付・時間・場所・曜日・数字などの情報を読み取ることができる。 	英語会話 コミュニケーション英語Ⅰ ・定期考査 ・音読活動

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	ペアワークやインタビュー活動、発表などの活動を通して、臆することなく積極的に会話し、コミュニケーションを図ろうしているか。 ・インタビューテスト ・暗唱、発表	単元ごとの場面設定に応じた語彙や表現を用いて表現し、情報や考えなどを適切に伝えているか。 ・定期考査 ・ペアでの言語活動の様子 ・課題の取り組み内容	本文や会話文を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解しているか。 ・定期考査 ・リスニングテスト	会話文や英文の中で使われている語彙やその用法について理解し、知識が身につけているか。 ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (相当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 1 (6時間)	自己紹介 New Friends 自己紹介、興味・関心事について話す。 ・未来形 be going to ・不定詞(名詞的用法) want to do	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		自己紹介ができる。自分の興味・関心事について相手と会話することができる。	SPEAKING を参考に、ペアで会話し、INTERVIEW の表に記入する。PRESENTATION を使って紹介する。	自己紹介、またクラスメートを紹介することができる。	・INTERVIEW 活動、 T-NET との会話に取り組んでいるか観察する。 ・PRESENTATION	
		「外国語表現の能力」				
		自己紹介の中で、出身中学校、部活動、興味・関心事について適切に伝える。	KEY EXPRESSIONS で基本表現を確認し、SPEAKING に語句を補い、ペアで会話する。	SPEAKING を使って正しく語句を補い、相手に伝えることができるか。	ペアでの言語活動を観察する。	
		「外国語理解の能力」				
		自己紹介、興味関心事について聞き、理解する。Challenge!!の内容を理解する。	LISTENING の情報を聞き取り、表に答えを書く。Challenge!!の内容を理解しペアで練習する。	自己紹介、興味関心事について聞いて理解することができる。	・定期考査のリスニング問題で問う。 ・Challenge!!の暗唱、発表。	
「言語や文化についての知識・理解」						
未来表現 (be going to) と不定詞 (名詞的用法) want to do を理解する。	本文中で未来形、不定詞が使われている箇所を確認し、未来形、不定詞用いて表現してみる。	未来形、不定詞が自己紹介の中で適切に使えているか。	定期考査の筆記問題で問う。			
Lesson 2 (6時間)	Free Time 余暇の過ごし方について話す。 ・現在形 ・過去形	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		余暇の過ごし方について、相手と会話することができる。	SPEAKING を参考に、ペアで会話し、INTERVIEW の表に記入する。PRESENTATION を使って紹介する。	余暇について会話ができているか。INTERVIEW の表に記入できているか。	・INTERVIEW 活動、 T-NET との会話に取り組んでいるか観察する。 ・PRESENTATION	
		「外国語表現の能力」				
		余暇の過ごし方(週末にしたこと、すること)について伝える。	KEY EXPRESSIONS で基本表現を確認し、SPEAKING に語句を補い、ペアで伝えあう。	余暇の過ごし方について正しく表現できている。	ペアでの言語活動を観察する。	
		「外国語理解の能力」				
余暇の過ごし方についての会話を聞き、理解する。Challenge!!の内容を理解する。	LISTENING の情報を聞き取り、表に答えを書く。Challenge!!の内容を理解しペアで練習する。	LISTENING の取り組みと理解。	・定期考査のリスニング問題で問う。 ・Challenge!!の暗唱、発表。			
「言語や文化についての知識・理解」						

		現在形と過去形を使い分けることができる。動詞の現在形、過去形を正しく書くことができる。	本文中の動詞を確認し、習慣を表すときには現在形を用い、過去の表現を含むときには過去形を使う。	会話の中で現在形と過去形を適切に使うことができるか。	定期考査の筆記問題で問う。
--	--	---	--	----------------------------	---------------

単元 (配当時間)	題材内容	単元の見目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 3 (6時間)	Are You Okay? 体調について話す。 助動詞 should 「～した方がよい」	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		体調について会話することができる。	SPEAKING を参考に、ペアで会話し、INTERVIEW の表に記入する。	体調についての会話をし、INTERVIEW の表に記入できている。	・INTERVIEW 活動、T-NET との会話に取り組んでいるか観察する。 ・INTERVIEW 表のチェック	
		「外国語表現の能力」				
		体調についてたずねたり、症状を伝えたり、アドバイスを与えたりできる。	KEY EXPRESSIONS で基本表現を確認し、SPEAKING に語句を補い、ペアで会話する。	症状を伝えたり、アドバイスを与えたりできる。	ペアでの言語活動を観察する。	
		「外国語理解の能力」				
体調についての会話を聞いて理解することができる。Challenge!!の内容を理解する。	WARM UP で症状を表す語を確認し、LISTENING を聞いて、表に記入する。Challenge!!の内容理解と練習。	LISTENING の内容を正しく理解できているか。	・定期考査のリスニング問題で問う。 ・Challenge!!の暗唱、発表。			
「言語や文化についての知識・理解」						
助動詞 should 「～したほうがよい」を理解する。	・本文で should が使われている箇所を確認する。 ・should を使ってアドバイスをする。	should の意味と使い方を理解できているか。	定期考査の筆記問題において問う。			
Games in English 1 (2時間)	Square Game 指示絵ゲーム 英語の指示を聞いて、枠を移動し、絵や数字を記入する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		Square Game の指示を伝えたり、相手の指示を理解して作業することができる。	指示を出し合いながら、Square Game の表を完成させる。	Square Game の表を埋めるための指示を伝えたり、指示を理解し答えることができるか。	ゲーム活動への取り組みと、T-NET との会話に参加できているか観察する。 Square Game の表のチェック	
		「外国語表現の能力」				
		この単元で学んだ語句や表現を用いて英語で指示を与えることができる。	指示を与える時に必要な表現を確認し、自分で内容を考えて指示を与える英文を書く。音読練習する。	本単元で学んだ語句や表現を用いて正しく指示が書けているか、また伝えられているか。	・英語で書いた指示文の発表。	
		「外国語理解の能力」				
英語の指示を聞いて理解し、作業できる。	与えられた指示に従って枠に絵や数字を記入する。	指示を正しく理解できているか、また理解しようと努めているか。	・ゲームで指示を与えるときの表現を定期考査で問う。			
「言語や文化についての知識・理解」						

		(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	
--	--	---------------	---------------	---------------	--

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (6時間)	Our School 学校について話す。 There is/are 「～があります」	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分の学校を紹介する。	SPEAKING を参考に、ペアで会話し、INTERVIEW の表に記入する。PRESENTATION を使って紹介する。	・積極的に会話ができている。 ・学校を紹介することができる。	・INTERVIEW 活動、 T-NET との会話に取り組んでいるか観察する。 ・PRESENTATION
		「外国語表現の能力」			
		学校の部活動、行事、特色について紹介することができる。	KEY EXPRESSIONS で基本表現を確認し、SPEAKING に語句を補い、ペアで会話する。日付、数字の学習。	SPEAKING を使って正しく語句を補い、相手に伝えることができるか。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		学校について会話を聞き、内容を理解することができる。Challenge!!の内容を理解する。	WARM-UP で表現を確認し、LISTENING を聞いて、表に記入する。Challenge!!の内容理解と練習。	LISTENING の内容を正しく理解できているか。	・定期考査のリスニング問題で問う。 ・Challenge!!の暗唱、発表。
「言語や文化についての知識・理解」					
	There is/are 「～があります」を理解する。	There is/are が本文で使われている箇所を確認する。また、疑問文の表現の仕方も確認する。	正しく使えているか。	定期考査の筆記問題において問う。	
Lesson 5 (6時間)	Weather 天気、気候について話す。 助動詞 <will +動詞の原形>「～でしょう」	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		天気、天候について会話する。	会話例を参考に、ペアで会話し、PAIR WORK の表に記入する。	積極的にPAIR WORK の会話ができている。	・PAIR WORK、 T-NET との会話に取り組んでいるか観察する。 ・PAIR WORK の表をチェック
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句、表現を用いて、天気、気候についてたずねたり、伝えたりできる。	KEY EXPRESSIONS で基本表現を確認し、SPEAKING に語句を補い、ペアで会話する。	正しく語句を補い、相手に伝えることができるか。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		天候についての会話を聞き、理解する。Challenge!!の内容を理解する。	WARM-UP で表現を確認し、LISTENING を聞いて、表に記入する。Challenge!!の内容理解と練習。	LISTENING の内容を正しく理解できているか。	・定期考査のリスニング問題で問う。 ・Challenge!!の暗唱、発表。
「言語や文化についての知識・理解」					

		<ul style="list-style-type: none">・助動詞<will+動詞の原形>「～でしょう」を理解する。・It を主語にする。	<ul style="list-style-type: none">・It / will が本文で使われている箇所を確認する。	will の意味と使い方 を理解できているか。	定期考査の筆記問題 において問う。
--	--	---	---	----------------------------	----------------------

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (6時間)	TV Program 好きなテレビ番組やスターについて話す。 動名詞 < ~ing > 「~すること」	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		好きなTV番組やスターについて会話する。	SPEAKING を参考に、ペアで会話し、INTERVIEW の表に記入する。PRESENTATION を使って紹介する。	好きなTV番組やスターについて積極的に相手に伝えようとしているか。	・INTERVIEW 活動、 T-NET との会話に取り組んでいるか観察する。 ・PRESENTATION
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句、表現を用いて、好きなTV番組やスターについて話すことができる。	KEY EXPRESSIONS で基本表現を確認し、SPEAKING に語句を補い、ペアで会話する。	好きなTV番組やスターについて会話ができていますか。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		好きなTV番組やスターに関する会話を聞いて理解する。Challenge!!の内容を理解する。	WARM-UP で表現を確認し、LISTENING を聞いて、表に記入する。Challenge!!の内容理解と練習。	LISTENING の内容を正しく理解できているか。	・定期考査のリスニング問題で問う。 ・Challenge!!の暗唱、発表。
「言語や文化についての知識・理解」					
	動名詞「~すること」の用法を理解する。動詞に< ~ing >をつけた形。名詞の働きをする。	本文中で使われている箇所を確認する。	動名詞の意味と用法を理解できているか。	定期考査の筆記問題において問う。	
Games in English 2 (2時間)	Guess What! Game あててごらん!ゲーム 英語を聞いて、それが何を説明しているのか聞きとる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		クイズのヒントを出したり、相手のヒントを聞き、理解し、答えを推測することができる。	ヒントのやり取りをし、ゲームの表の中に数字を書き入れる。	ヒントのやり取りを通して、表に記号を書き入れることができる、また協力して取り組んでいるか。	ゲーム活動への取り組みと、T-NET との会話に参加できているか観察する。
		「外国語表現の能力」			
		ある物についてヒントとなる英文を書き、伝えることができる。	ヒントを出す時に必要な表現を学習し、ヒントとなる英文を自分で考えて書く。	本単元で学んだ語句や表現を用いて正しくヒントが書けているか、また伝えているか。	・言語活動を観察する。 ・ヒントとなる英文を発表する。
		「外国語理解の能力」			
		ある物について、ヒントを英語で聞いて理解し、答えを推測することができる。	与えられたヒントを聞いて理解する。	与えられたヒントを正しく理解できているか、また理解しようとするか。	・定期考査で問う。 ・ワークシートの取り組み状況。
「言語や文化についての知識・理解」					
	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)	(本単元では設定しない。)		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (6時間)	Talking on a Cell Phone 携帯電話で待ち合わせの時の会話をする。 現在完了 <have/has+過去分詞> 「もう～しましたか」	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		携帯電話で待ち合わせの時の会話をする。	SPEAKING を参考に、ペアで会話し、聞き取った内容を ROLE PLAY の表に記入する。	ROLE PRAY で質問の内容について積極的に相手に伝えようとしているか。	・ROLE PRAY、T-NET との会話に取り組んでいるか観察する。 ・ROLE PRAY の表をチェック
		「外国語表現の能力」			
		電話での会話の始め方や待ち合わせの時の表現ができる。	KEY EXPRESSIONS で基本表現を確認し、SPEAKING に語句を補い、ペアで会話する。	正しく語句を補い、相手に伝えることができているか。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		電話での待ち合わせの時の会話を聞いて、理解する。Challenge!!の内容を理解する。	WARM-UP で表現を確認し、LISTENING を聞いて、表に記入する。Challenge!!の内容理解と練習。	LISTENING の内容を正しく理解できているか。	・定期考査のリスニング問題で問う。 ・Challenge!!の暗唱、発表。
「言語や文化についての知識・理解」					
現在完了 <have/has+過去分詞>「もう～しましたか」を理解する。	本文中で現在完了が使われている箇所を確認する。	現在完了の用法と意味を理解する。	定期考査の筆記問題において問う。		
Lesson 8 (6時間)	Telling the Way 道案内をする。 <tell+ (人) + (事がら)> >「(人)に～を教える」	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		道案内ができる。	会話例を参考に、ペアで会話し、PAIR WORK の表に記入する。	PAIR WORK で積極的に相手に伝えようとしているか。	・PAIR WORK、T-NET との会話に取り組んでいるか観察する。 ・PAIR WORK の表をチェック
		「外国語表現の能力」			
		道案内の語句、表現を使って道案内ができる。	KEY EXPRESSIONS で基本表現を確認し、SPEAKING に語句を補い、ペアで会話する。	指示された目的地まで道案内の表現を使って案内できる。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		道案内の会話を聞いて、内容を理解することができる。Challenge!!の内容を理解する。	WARM-UP で表現を確認し、LISTENING を聞いて、表に記入する。Challenge!!の内容理解と練習。	LISTENING の内容を正しく理解できているか。	・定期考査のリスニング問題で問う。 ・Challenge!!の暗唱、発表。
「言語や文化についての知識・理解」					
<tell+ (人) + (事がら)> >「(人)に～を教える」の表現を理解する。	本文中で使われている箇所を確認する。	<tell+ (人) + (事がら)> >「(人)に～を教える」の表現を理解する。	定期考査の筆記問題において問う。		

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現 I	2	第3学年	Vision Quest English Expression I Core (啓林館)

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・英語表現 I の授業は、身の回りのことや自分のことについて、話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業には積極的に参加しましょう。
- ・また、進路別にクラス分けを行います。就職・言語系以外の専門学校への進学を目指すクラスでは基礎から丁寧に学習します。大学受験を目指すクラスでは、応用問題を多く取り入れた授業を行います。自分の進路希望に合ったクラスを選択してください。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」(3単位) 及び「英語表現 I」(2単位)

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・英文を句ごとに分け、文の意味を理解しながら音読することができる。 ・気持ちをこめて相手に分かりやすく暗唱することができる。 ・準備した上で身の回りのことを相手に説明することができる。 	コミュ英Ⅱ 暗唱テスト スピーチ 英語表現Ⅰ インタビューテスト スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な絵を見て、人やモノの状態を簡単な英語で表現することができる。 ・日常的な質問を聞き、それに対する返答を初歩的な英語で書くことができる。 	コミュ英Ⅱ ライティングテスト 定期考査 英語表現Ⅰ ライティングテスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や日常の中で交わされる簡単な質問や対話を聞き、おおまかな意味を理解することができる。 ・すでに学習した英語の表現や文章を聞き、80%以上の意味を理解することができる。 	コミュ英Ⅱ リスニングテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・150字程度の簡単な英文を辞書を使用して読み、大まかな内容を理解することができる。 ・身近な生活やこれまでの経験・将来の夢などの説明文を読み、理解することができる。 	コミュ英Ⅱ リスニングテスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 1 (6時間)	Do you like sports? be 動詞 一般動詞 肯定文 否定文 命令文・感嘆文 英語で自己紹介する際に用いられる表現を学習する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		ペアワークにおいて、お互いに協力しながら会話を続ける。	ペアになり自己紹介をし合う。相手の自己紹介について、相槌を打つ練習、質問をする練習をする。	ペアワークにおいて、お互いに協力し合いながら会話を続けている。		
		「外国語表現の能力」				自己紹介文の添削
		be 動詞および一般動詞を用いた自己紹介文を書くことができる。	be 動詞および一般動詞を使って自己紹介文を書く。ペアになり自己紹介しあう。	適切に自己紹介文が書けているか。自己紹介文を正しく暗唱することができるか。		
		「外国語理解の能力」				
		(本単元では設定しない。)	自己紹介のデモンストレーションを聞き、ターゲット文法を学習する。	(本単元では設定しない。)		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
be 動詞と一般動詞の使い方になれる。	ワークブックを使い、語彙の意味や用法を確認し、練習する。	be 動詞および一般動詞の使い方を理解する。自分のことを表現できる。				
Lesson 2 (6時間)	I study Japanese through anime. SV, SVC 「アニメ」実際の場面を想定してコミュニケーション活動をする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		文型と動詞に留意し、学習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	SV,SVCなどの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		SV,SVCなどの学習した表現を用いた文を完成する。	英文に関する英問に解答したり、Activity3,4で実際の場面を想定して対話したりする。	SV,SVCなどの学習した表現を用いた文を完成することができる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
アニメで日本語を学習しているという場面の英文を理解する。	本文や例文を読んだり聞いたりする。練習問題の指示を読んで解答する。	Activity3,4の場面の英文が理解できる。				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 3 (6時間)	Will you go back home this summer? 時制 進行形 「旅行」の場面における表現を学習し、使用できるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		様々な時制を学習し、既習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	時制、「旅行」などの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		時制、「旅行」などの学習した表現を用いた文を完成する。	英文に関する英問に解答したり、Activity3,4で実際の場面を想定して対話したりする	時制、「旅行」などの学習した表現を用いた文を完成することができる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
「旅行」の場面の英文を理解する。	本文や例文を聞いたり読んだりする。練習問題の指示を読んで解答する。	「旅行」について話している場面の英文が理解できる。				
Lesson 4 (6時間)	I've never played soccer before. 完了形 「スポーツ」の場面における表現を学習し、使用できるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		完了形、「スポーツ」などの学習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	完了形、「スポーツ」などの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		完了形、「スポーツ」などの学習した表現を用いた文を完成する。	英文に関する英問に解答したり、Activity3,4で実際の場面を想定して対話したりする。	完了形、「スポーツ」などの学習した表現を用いた文を完成することができる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
「スポーツ」の場面の英文を理解する。	本文や例文を聞いたり読んだりする。練習問題の指示を読んで解答する。	「スポーツ」の場面の英文が理解できる。				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 5 (6時間)	The apple pie is delicious. 助動詞(許可・依頼) 「食事」の場面における表現を学習し、使用できるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		助動詞(許可・依頼)、「食事」などの学習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	助動詞(許可・依頼)、「食事」などの学習した表現を用いた文を書くことができる。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言をする。	英文に関する英問に解答したり、Activity3,4で実際の場面を想定して対話したりする。	ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
食事の場面の英文を理解する。	本文や例文を聞いたり読んだりする。練習問題の指示を読んで解答する。	食事の場面の英文が理解できる。				
Lesson 6 (6時間)	I'm so glad I can see the Sydney Opera House. 受動態 「観光」の場面における表現を学習し、使用できるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		受動態、「観光」などの学習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	受動態、「観光」などの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		受動態、「観光」などの学習した表現を用いた文を完成する。	英文に関する英問に解答したり、Activity3,4で実際の場面を想定して対話したりする。	受動態、「観光」などの学習した表現を用いた文を完成することができる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
受動態を用いた文を理解する。	練習問題の指示を読んで解答する。	受動態を用いた文が理解できる。				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 7 (6時間)	Thank you for your invitation today. 不定詞 「交際」の場面における表現を学習し、使用できるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		不定詞、「交際」などの学習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	不定詞、「交際」などの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		不定詞、「交際」などの学習した表現を用いた文を完成する。	英文に関する英問に解答したり、Activity3,4で実際の場面を想定して対話したりする。	不定詞、「交際」などの学習した表現を用いた文を完成することができる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
不定詞を用いた文を理解する。	練習問題の指示を読んで解答する。	不定詞を用いた文が理解できる。				
Lesson 8 (6時間)	How about going together this weekend? 動名詞 「娯楽」の場面における表現を学習し、使用できるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		動名詞、「娯楽」などの学習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	動名詞、「娯楽」などの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		学習した表現、文法事項を用いて「娯楽」の文を書く。	英文に関する英問に解答したり、Activity3,4で実際の場面を想定して対話したりする。	動名詞、「娯楽」などの学習した表現を用いた文を完成することができる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
動名詞を用いた文を理解する。	練習問題の指示を読んで解答する。	動名詞を用いた文が理解できる。				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 9 (6時間)	I'm unhappy with our school uniform. 分詞 「ルール」の 場面における 表現を学習 し、使用でき るようにす る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提 出
		分詞、「ルール」な どの学習した表現を 用いた文を書こうと する。	CDを聞いたり、英文 や説明を読んだりし て、その内容を理解 し、それについて話 したり、書いたりす る活動を行う。	分詞、「ルール」な どの学習した表現 を用いた文を書こ うとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提 出
		学習した表現、文法 事項を用いて、「ル ール」について述べ る文を書く。	英文に関する英問に 解答したり、 Activity3,4で実際の 場面を想定して対話 したりする。	学習した表現、文 法事項を用いて 「ルール」を表す 文を書くことがで きる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提 出
		文法などの規則にの っとって、英文の内 容を正しく理解す る。	英文の内容を把握 し、英語の質問に答 える。	文法などの規則に のっとって、英文 の内容を正しく理 解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提 出 定期テスト		
分詞を用いた文を理 解する。	練習問題の指示を読 んで解答する。	分詞を用いた文が 理解できる。				
Lesson 10 (6時間)	That's why it looks so nice! 関係詞 「文化」の場 面における表 現を学習し、 使用できるよ うにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提 出
		関係詞、「文化」な どの学習した表現を 用いた文を書こうと する。	CDを聞いたり、英文 や説明を読んだりし て、その内容を理解 し、それについて話 したり、書いたりす る活動を行う。	関係詞、「文化」な どの学習した表現 を用いた文を書こ うとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提 出
		関係詞、「文化」な どの学習した表現を 用いた文を完成す る。	CDを聞いたり、英文 や説明を読んだりし て、その内容を理解 し、それについて話 したり、書いたりす る活動を行う。	関係詞、「文化」な どの学習した表現 を用いた文を書こ うとしている。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提 出
		文法などの規則にの っとって、英文の内 容を正しく理解す る。	英文の内容を把握 し、英語の質問に答 える。	文法などの規則に のっとって、英文 の内容を正しく理 解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提 出 定期テスト		
関係詞を用いた文を 理解する。	練習問題の指示を読 んで解答する。	関係詞を用いた文 が理解できる。				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 11 (6時間)	I hear the population of Japan is falling quickly. 比較 「社会」の場面における表現を学習し、使用できるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		比較、「社会」などの学習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	比較、「社会」などの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		学習した表現、文法事項を用いて「社会」について述べる文を書く。	英文に関する英問に解答したり、Activity3,4で実際の場面を想定して対話したりする。	学習した表現、文法事項を用いて「社会」を表す文を書くことができる。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとり、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとり、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
比較を用いた文を理解する。	練習問題の指示を読んで解答する。	比較を用いた文が理解できる。				
Lesson 12 (6時間)	I wish it were possible to get it back. 仮定法 「悩み事」の場面における表現を学習し、使用できるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				観察 ワークブックの提出
		仮定法、「悩み事」などの学習した表現を用いた文を書こうとする。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	仮定法、「悩み事」などの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語表現の能力」				ワークブックの提出
		仮定法、「悩み事」などの学習した表現を用いた文を完成する。	CDを聞いたり、英文や説明を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	仮定法、「悩み事」などの学習した表現を用いた文を書こうとしている。		
		「外国語理解の能力」				ワークブックの提出
		文法などの規則にのっとり、英文の内容を正しく理解する。	英文の内容を把握し、英語の質問に答える。	文法などの規則にのっとり、英文の内容を正しく理解できる。		
「言語や文化についての知識・理解」				ワークブックの提出 定期テスト		
仮定法を用いた文を理解する。	練習問題の指示を読んで解答する。	仮定法を用いた文が理解できる。				

令和2年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	家庭総合「自立・共生・創造」(東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<p>○自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。 ・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。 ・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身につけます。 ・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決をめざしして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 自己評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 製作物 実技テスト 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	自分らしい人生をつくる	<p>○家庭科で何を学ぶか ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p> <p>○生涯発達の視点 *生涯発達のグラフを書いてみよう</p> <p>○青年期の課題 *自分を見つめる *自立度チェック</p> <p>○目標を持って生きる *自分の将来を考えよう！具体化しよう！</p> <p>○人生をつくる *一人暮らしのメリットデメリット *パートナーと暮らすメリットデメリット *子ども・親と暮らすメリットデメリット</p>	○				<p>a : 家庭科の内容について関心をもち、主体的に自身の生活に関連させようとしている。</p> <p>各ライフステージについて目標や課題をみいだす態度が見られる。</p> <p>b : 各ライフステージにおいて自身の生活を向上できるように考えられる。</p> <p>c : 各ライフステージの課題に対応した意思決定ができる。</p> <p>d : 各ライフステージについての課題が理解できている。</p>	<p>授業観察 プリント ワークシート 定期考査 発表</p>

		<p>○家族・家庭を見つめる</p> <p>*家族について考える（これまで・これから）</p> <p>*結婚するにあたっての条件</p> <p>*貧困について考える</p> <p>*生活費や子育てにいくらかかる？</p> <p>○これからの家庭生活と社会</p> <p>*家庭の機能の社会化について考える</p> <p>*つながる力とは？</p>	○	○	○	○	<p>a : 現代の家族・家庭について自分の家族や家庭を振り返り、関心を持つようとしている。</p> <p>b : 現代の家庭について傾向や課題を見だし、その対応を考えることができる。</p> <p>c : 家庭の機能と社会との関係について、具体的例を挙げ、活用等の意志決定ができる。</p> <p>d : 家族・家庭に関わる基本的な知識が理解できている。</p>	<p>授業観察</p> <p>プリント</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p> <p>発表</p>
2	生活を設計する	<p>○生涯を見通す</p> <p>*人生の選択肢を考える</p>	○	○	○	○	<p>a : 自らの生活設計について意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b : 自らの生活設計に対応する生活資源は何かを具体的に考えることができる。</p> <p>c : ライフステージを関連させて、生活設計ができる。</p> <p>d : 生活設計に関わる知識を理解している。</p>	

2 ・ 3	住生活をつくる	<p>○住生活について考える</p> <p>*家を買う</p> <p>*家を借りる</p> <p>*どの物件が良いか</p> <p>○住生活の計画と選択</p> <p>*住宅内の事故の可能性について考えよう！</p> <p>*防犯や丈夫な家を考える</p> <p>*インテリア・色の効果を知る</p> <p>○住生活の文化と知恵</p> <p>*和風と洋風どちらが好み？</p> <p>○これからの住生活</p>	○	○	○	○	<p>a : 住居の機能や文化などに興味を持ち、取り組んでいるか。</p> <p>b : 日本の住居の現状や問題を把握し、課題を考察することができる。</p> <p>c : 生活の質を高めるための住居計画ができる。自分に合う住まいの選択ができる。</p> <p>d : 住居に関わる科学的な理解や住居に関わる基本的な知識を身に付けている。</p>	<p>授業観察</p> <p>プリント</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p> <p>発表</p>
-------------	---------	--	---	---	---	---	---	---

3	共に生き、共に支える	<p>○私たちの生活と福祉 *自分のクオリティオブライフとは？</p> <p>○社会保障の考え方 *こんな時どうする？</p> <p>○共に生きる *自分たちにできるボランティアってなんだろう？ *身近なユニバーサルデザインを探そう！ *地域の防災力を高めよう</p>		○	○	○	<p>a : ノーマライゼーションの考え方に興味をもっている。</p> <p>b : 自立した生活を営むことについて考えられる。</p> <p>様々な人々と支え合って生きることの重要性を考えられる。</p> <p>c : 様々な人々と主体的関わることができる。</p> <p>d : 共生社会に必要な知識を身に付けているか。</p>	<p>授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 発表</p>
		各学期で設定した単元を範囲として定期考査を実施する		○	○	○		<p>プリント ワークシート 定期考査 レポート</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ *は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	家庭総合「明日の生活を築く」(開隆堂出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

○自分の家庭生活について興味や関心を持ち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。

- ・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
- ・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
- ・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身につけます。
- ・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決をめざしして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 自己評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 製作物 実技テスト 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	着る	○人間と被服 *浴衣の着用 ○被服の選択 ○被服の着用 ○被服の管理 *洗剤・漂白剤を知る ○被服をつくる *エプロン製作実習 * ○これからの衣生活	○	○	○	○	a : 被服の機能, 文化, 着装, 被服管理について関心をもち, 実生活で活用しようとする態度がみられる。 b : 被服に関わる様々な課題について考えることができるか。 c : 被服管理や被服製作についての技術が身についている。 d : 衣生活の内容について必要な知識を身に付け, 科学的にも理解できている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録 製作物
		1 学期期末考査		○	○	○		定期考査
2	食べる	○人間と食べ物 *自分の食事を振り返る ○食品と栄養 ○食品の衛生と安全 *腐敗の実験 ○食事を調える *献立を立てる ○調理の基礎 *調理実習 (和食・中華・洋食) *食品実験・実習 (マヨネーズとバターづくり) ○これからの食生活	○			○	a : 自分の食生活を振り返り, 学習した内容を活用しようとする態度がみられる。 b : 食品についての特徴を観察等から推測し考えることができる。食品廃棄についても考えられる。 c : 食生活を営むにあたり, 栄養を考慮でき, 食品の特徴や調理技術, 食品の衛生や安全などの技術を身に付けている。 d : 栄養, 食品, 調理, 食品衛生等を実験や実習で科学的に理解し, 食生活に必要な知識を理解している。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録

		2学期末期末考査		○	○	○		定期考査
		ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動 *食に関する自由テーマ 家庭における伝統料理、 環境を考えた食のテーマなど 個人調査研究・発表	○	○	○	○	a : 主体的に取り組もうと している。 b : 生活の課題を見つめ、 そのために必要なことを 調べたり、考えたりで きる。 c : テーマに沿って実施で きている。 d : ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動に 関わる必要な知識を身 に付けている。	授業観察 レポート 製作物 発表 自己評価 相互評価
3	子どもの 発達と 保育・ 福祉	○子どもの発達と生活 *調製粉乳実習 *離乳食実習 *幼児食実習 *沐浴実習 ○子どもとかかわる *子育て経験者に聞く *しつけを考える (親教育教材) ○親の役割と子育て支援 *「叱る」を体験する ○子どもの権利と福祉	○	○	○	○	a : 子どもの発達・保育・ 福祉について実習を通 して意欲的に学ぼうと する態度がみられる。 b : 子どもに関わる課題や 問題について、メディ アからの情報について その原因や対応につい て考えることができ る。 c : 子どもの心身を健全に 育む技術を身に付けて いる。 d : 子どもを育てるために 必要な知識を身に付 け、社会的支援の活用 についても理解できて いる。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録 発表
		3学期期末考査		○	○	○		定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ *は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新・見てわかる社会と情報（日本文教出版）						
副教材等	ポイントでマスター 基礎からはじめる 情報リテラシー（実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

スマートフォンで世界中の情報を簡単に手に入れられる時代のなかで、コンテンツを生み出す情報端末であるパソコンの基本的な操作を身に付けることを目標として、実習を行います。

また、あふれる情報のなかから、自分にとって必要な情報、正しい情報を見極め、効率よく収集する方法を学び、情報社会のなかで生きていく力を身に着けます。

2 学習の到達目標

- ・ 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する。
- ・ 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現できる。
- ・ 効果的にコミュニケーションを行う能力を身に着け、情報社会に積極的に参画する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	情報や情報社会に関心を持ち、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。	情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、適切に判断し表現している。	目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評 価 方 法	出席状況 授業態度 プリント 自己評価 等	授業態度 定期考査の結果 プリント 作品 相互評価 等	作品 実技小テスト 等	定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	情報モラル	スマートフォンの利用 SNSの正しい使い方 肖像権	○	○		○	a: 関心を持ち、自ら進んで授業に参加している。 b: インターネット上で、してよいことと、してはいけないことの判断ができる。 d: 判断のための知識や根拠を理解する。	出席状況 授業態度 プリント 自己評価 定期考査
1	情報のデジタル化	デジタルとアナログ 文字のデジタル表現 画像のデジタル表現	○	○		○	a: 関心を持ち、自ら進んで授業に参加している。 b: 数値を2進数で表現できる。 d: 標本化と量子化を理解できている。	出席状況 授業態度 定期考査
1	文書処理	キーボードからの文字入力と変換 文書処理ソフトウェアを活用し、様々な文書を作成する。	○		○	○	a: 関心を持ち、自ら進んで授業に参加している。 c: 目的に合わせ、ソフトウェアを有効に活用できる。 d: 効率的な文字入力方法や、ソフトウェアの操作方法を理解する。	出席状況 授業態度 プリント 定期考査 作品 小テスト
2	データの分析	表計算ソフトを用いてデータの加工・分析を行う 加工・分析したデータをわかりやすく表現する。	○	○	○	○	a: 関心を持ち、自ら進んで授業に参加している。 c: 目的に合わせ、ソフトウェアを有効に活用できる。 b: データの正しい処理方法を判断できる。 d: 効率的なソフトウェアの操作方法を理解する。	出席状況 授業態度 プリント 定期考査 作品 小テスト
2・3	社会における情報	著作権 情報セキュリティ 情報のデジタル化	○	○	○	○	a: 関心を持ち、自ら進んで授業に参加している。 b: コンピュータとネットワークの特性を理解している。 d: コンピュータでの情報の表現方法を理解している。著作権について理解している。	出席状況 授業態度 プリント 定期考査 作品 小テスト

令和2年度 情報科

教科	情報	科目	表現メディアの 編集と表現	単位 数	2単位	年次	3年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では、様々な素材をコンピュータを用いて統合・加工し、効果的に表現する方法について学びます。授業時間の多くはコンピュータを用いた創作活動になりますので、完成度の高い作品を完成させられるよう、積極的に取り組んでください。

・様々な素材を使用します。2年次で学んだ著作権法の知識を生かし、各素材の権利や利用条件に留意しながら制作を行ってください。

2 学習の到達目標

コンピュータによる表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てることを目標とする

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	コンピュータでの様々なメディアの表現に興味を持ち、主体的に創作・編集活動に取り組める。	目的に合わせて、素材の準備、適切なコンピュータ上での表現の形式を計画する。	さまざまな編集ソフトウェアの機能を理解し、目的に合わせて適切に使用することができる。	音声・画像・動画などのさまざまな表現メディアの特性を理解する。
評 価 方 法	出席状況 提出物 学習活動の様子	学習活動の様子 作品	学習活動の様子 作品	学習活動の様子 作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

令和2年度 芸術科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> ・ソルフェージュの授業では、ピアノに携わる進路を目指している生徒、よりピアノを専門的に学びたい生徒を対象に、ピアノ奏法の基礎を身に付けるための授業を行います。また、そのために必要な読譜の訓練も丁寧に行います。 ・弾き歌いや連弾にも取り組みます。 ・ソルフェージュを通して「歌う」「弾く」「聴く」「合わせる」の多方面から音楽に親しみ、じっくり味わうことを目指します。
--

2 学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。
--

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:音楽への 関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、読譜や視唱・視奏・調音・ピアノの学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を正しく理解し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽作品や作曲家、演奏などを解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わう。
評 価 方 法	観察 プリント	観察 プリント	演奏の聴取	観察 ワークシート 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1年を通して	楽譜の理解を深めよう	○楽典 ・読譜・コード・音楽用語・視唱・視奏・聴音 他	○			○	a: 音楽の基礎理論の理解を深め、さらに新しい知識を習得するために主体的に取り組もうとしている。 d: 音階や音符・コードなどを学習し、生涯にわたって専門的な学習をするための読譜力等を付ける。	観察 プリント 小テスト
1学期	鍵盤楽器に慣れよう	【器楽】 ○鍵盤楽器の独奏 ・ピアノ(キーボード) ・演奏のための基礎練習1 指の形の説明・指ならし・ハ長調(逆進行・同進行) 他 ○鍵盤楽器の弾き歌い ・ピアノ(キーボード) 「ぶんぶんぶん」「かっこう」 「メリーさんのひつじ」「ちょうちょう」「たなばたさま」 他	○	○	○	○	a: 楽器演奏の基礎を学ぶ楽しさを知り、楽器に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 楽器の特徴を理解し、旋律・リズム・速度など音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を楽しみ、曲を演奏することができる。 c: リズム譜を読譜し、表現したいことを伝える為の技能を身に付けている。 d: 他の生徒の演奏を鑑賞し、工夫していた所、よかった・よりよくするためにはどうすればいいのかを考え、発表・評価する。	観察 演奏の聴取 プリント

	音と映像を味わおう	【鑑賞】 ○「ファンタジア」	○			○	a:管弦打で扱われる楽器の音色や特徴、仕組みと表現上の効果とそれらからイメージされる映像に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
2学期	鍵盤楽器を学ぼう	【器楽】 ○鍵盤楽器の独奏 ・ピアノ(キーボード) ・演奏のための基礎練習2 指ならし・音階・左手の和音を掴む練習 ○鍵盤楽器の弾き歌い ・ピアノ(キーボード) 「チューリップ」「大きな栗の木の下で」「こいのぼり」「お正月」「むすんでひらいて」 他	○	○	○	○	a:演奏する喜びを味わい、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の特徴を理解し、旋律・リズム・速度など音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受し、曲を演奏することができる。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝える為の技能を身に付けている。 d:他の生徒の演奏を鑑賞し、工夫していた所、よかった・よりよくするためにはどうすればいいのかを考え、発表・評価する。	観察 演奏の聴取 プリント

	連弾を楽しもう	【器楽】 ○鍵盤楽器の連弾 ・ピアノ(キーボード) ・「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」「ハイ・ホー」「校歌」 他	○	○	○	a:連弾に関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:他者との演奏の響きを知覚し、その働きが生み出す雰囲気や和声を感じしながら、どのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って演奏することが出来ている。	ワークシート
3学期	伝統楽器の響きを味わおう	【鑑賞】 ○箏三重奏 ・「君をのせて」「ムーンライト伝説」「Let It Go」 ○二重奏(箏と尺八) 「春の海」	○		○	a:わが国の郷土の伝統音楽の特徴を理解し、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 演奏の聴取
	弾き歌いを楽しもう	【器楽】 ○鍵盤楽器独奏 ・ピアノ(キーボード) 「世界にひとつだけの花」「旅立ちの日に」「翼をください」 「勇気 100%」	○	○	○	a:演奏する喜びを味わい、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の特徴を理解し、旋律・リズム・速度など音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受し、曲を演奏することができる。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝える為の技能を身に付けている。	観察 プリント 演奏の聴取

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:鑑賞の能力

「学校設定科目」届（指導と評価の年間計画）

教科	科目	開設学年（年次）	単位数	教材名等
国語	発展国語	第2学年	2単位	ニューエイジ現代文基礎1・現代文必修2

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな問題文の読解を通してそれぞれの文章ジャンルの特性を理解させ、設問に対し、的確に答える力や論理力、表現力を養う。 語彙力を養い、読解に活かす。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> 本文を通して主題提示のしかたや叙述、構成のしかたに現れた文章ジャンルの特性を理解させる。自主的に設問に取り組み、要約力や表現力をチェックさせる。 本文内容だけでなく、重要語句を時間をかけて説明する。

月	進度（単元・章・巻）	指導内容（項目／活動）	評価方法	評価の観点
4月	『ニューエイジ現代文』 基礎1	・1…評論 ・2…小説	・出席 ・授業態度	・遅刻や欠課の数が少ないか ・自主的に取り組んでいるか
5月	随筆・評論・小説	・3、4…随筆 ・5…評論 ・6…小説	・提出物 ・小テスト ・中間考査	・期限までに提出したか ・前時の内容を理解しているか ・試験範囲内の内容を理解しているか
6月	『ニューエイジ現代文』 基礎1	・7…随筆 ・8…随筆	・出席 ・授業態度	・遅刻や欠課の数が少ないか ・自主的に取り組んでいるか
7月	随筆・評論・小説	・9…評論 ・10…小説 ・11、12…評論	・提出物 ・小テスト ・期末考査	・期限までに提出したか ・前時の内容を理解しているか ・試験範囲内の内容を理解しているか
9月	『ニューエイジ現代文』 基礎1	・13、14、15…随筆 ・16…評論	・出席 ・授業態度	・遅刻や欠課の数が少ないか ・自主的に取り組んでいるか
10月	随筆・評論・小説	・17…小説 ・18…評論	・提出物 ・小テスト	・期限までに提出したか ・前時の内容を理解しているか
11月	『ニューエイジ現代文』 基礎1	・20…随筆 ・21、22…評論	・出席 ・授業態度	・遅刻や欠課の数が少ないか ・自主的に取り組んでいるか
	随筆・評論・小説	・23…随筆 ・24…評論	・提出物 ・小テスト	・期限までに提出したか ・前時の内容を理解しているか

1月	『ニューエイジ現代文』 必修2 随筆・評論・小説	・ 1…評論	・ 出席 ・ 授業態度 ・ 提出物 ・ 小テスト ・ 学年末考査	・ 遅刻や欠課の数が少ないか ・ 自主的に取り組んでいるか ・ 期限までに提出したか ・ 前時の内容を理解しているか ・ 試験範囲内の内容を理解しているか
2月		・ 2…随筆		
3月		・ 3…小説 ・ 4…評論 ・ 5…小説		

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
国語	国語基礎	第2学年	2単位	国語必携ライトパーフェクト演習

到達目標 ※	<ul style="list-style-type: none"> 漢字についての知識を深め、漢字を正しく使えるようにする。 慣用句、ことわざ、四字熟語の知識を深め、正しく使えるようにする。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちや部首などについて学習し、漢字に興味を持たせる。 漢字検定5級から3級程度の漢字の読み書きを練習させる。 慣用句やことわざは実際に短文を作り、日常生活により即した形で修得できるようにする。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	・第1編 演習1～演習8	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取り 慣用表現の確認 文学史の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字小テスト 問題集提出 中間検査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集を丁寧に仕上げているか。 漢字の力がついてい
5月				
6月	・第2編 演習1～演習8	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取り 慣用表現の確認 カタカナ語、現代用語の確認 読解の演習 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字小テスト 問題集提出 期末検査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集を丁寧に仕上げているか。 漢字の力がついてい
7月				
8月				
9月				
10月	・第2編 演習9～演習10	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取り 口語文法の確認 敬語の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字小テスト 問題集提出 期末検査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集を丁寧に仕上げているか。 漢字の力がついてい
11月				
12月	・第3編 演習1～演習6	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取り 作文の書き方の確認 手紙・履歴書の書き方の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字小テスト 問題集提出 学年末検査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集を丁寧に仕上げているか。 漢字の力がついてい
1月				
2月				
3月	・第3編 演習7～演習10 ・第4編 演習1～演習4			

- ・ 第4編
演習5～演習6
- ・ 第5編
演習1～演習6

--	--	--

学校番号	202
------	-----

17枚のうちの 3

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
国語	漢字を究める	第3学年	2単位	漢字ボックス、パスポート国語必携

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な漢字検定3級相当の語彙力や文学史など国語常識の知識を定着させる。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・「部首」「四字熟語」「書き取り」「読み」「類義語・対義語」に分けて、試験の対策をする。 ・基礎的な文学史を理解させる。 ・小テストを実施し、知識の定着を図る。 ・暗記だけにとどまらず、漢字の意味も学習することで語彙力をつける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月 5月	「漢字ボックス」対策編	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きを反復演習する。 ・四字熟語、対義・類義語、部首等 単元ごとに対策を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字、語句の意味もおさえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・問題集自己採点 ・中間考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きが定着しているか。 ・語句等がもつ意味も理解できているか。
6月 7月 8月	「漢字ボックス」対策編 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きを反復演習する。 ・苦手分野を把握する。 漢字検定の過去問題を解き対策を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・本番同様に復習テストを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト ・問題集自己採点 ・期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きが定着しているか。 ・苦手分野を把握し、対策できているか。 ・漢字検定の合格基準を上回っているか。
9月 10月	「パスポート必携国語」 基本編1回～9回 「漢字ボックス」3級	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きを反復演習する。 ・外来語、ことわざ、慣用句表現等 基礎的な国語知識を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> ・文学史をおさえる。(古代～中世) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・問題集自己採点 ・中間考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な国語知識が定着できているか。 ・文学史や作品名等が理解できているか。
11月 12月	「パスポート国語必携」 基本編10回～発展編4回 「漢字ボックス」3級	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きを反復演習する。 ・外来語、ことわざ、慣用句表現等 基礎的な国語知識を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> ・文学史をおさえる。(近世～明治) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・問題集自己採点 ・期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な国語知識が定着できているか。 ・文学史や作品名等が理解できているか。
1月 2月 3月	「パスポート国語必携」 発展編5回～10回 「漢字ボックス」準2級	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な国語力がついていないか 点検する。 <ul style="list-style-type: none"> ・文学史をおさえる。(大正～平成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・問題集自己採点。 ・学年末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な国語力が定着しているか。 ・文学史や作品名等が理解できているか。

学校番号	202
------	-----

17枚のうちの 4

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
国語	実践国語	第3学年	2単位	国語必携パーフェクト演習

到達目標 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・職業を選択し、決定する場合に必要な能力と態度を養う。 ・就職試験に必要な国語常識と基礎力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な授業態度の確立 ・人の話を聞く習慣の確立 ・自己表現の手段（特に文章表現、話す能力）の育成

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	■問題集 第1編 (演習1～演習6)	・問題演習をさせる。	・漢字小テスト	・意欲的に取り組んでいるか。
5月		・基礎的な国語力を身に付けさせる。	・問題集提出	・漢字の力がついているか。
6月			・中間考査を実施	・基礎的な文章読解力を見る。
7月	■問題集 第1編 (演習7～演習10)	・問題演習をさせる。	・漢字小テスト	・意欲的に取り組んでいるか。
8月		・基礎的な国語力を身に付けさせる。	・問題集提出	・漢字の力がついているか。
9月	■問題集 第2編 (演習1～演習2)		・期末考査を実施	・基礎的な文章読解力を見る。
10月	■問題集 第2編 (演習3～演習7)	・問題演習をさせる。	・漢字小テスト	・意欲的に取り組んでいるか。
11月		・常識的な事項を確認させる。	・問題集提出	・就職試験に対応できる力が
12月			・中間考査を実施	ついているかどうか。
1月	■問題集 第5編 (演習1～演習3)	・敬語の使い方に慣れさせる。	・四字熟語小テスト	・作業での取り組みを重視
2月		・事務的な文書作成に慣れさせる。	ト	・丁寧にしあげているか。
	■問題集 第5編 (演習4)・電話の対応	・これまでに学んだことを定着させる。	・学年末考査を実施	・一般常識が身についている
	■問題集 第2編 (演習8～演習9)			・作業での取り組みを重視

	これまでの復習			
--	---------	--	--	--

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
国語	国語演習	第3学年	2単位	現代文解法のテクニック1 現代文解法のテクニック2

到達目標 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文の総合的な力を段階的に養成する。 ・現代文読解のための「正確に文章を読みとる力」を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題を解く実践力を養成する。 ・「基礎力養成」と「実力養成」とに分けて段階的に指導する。 ・生徒の自主的、主体的取り組みを重視する。 ・問題演習を学習形態の基本とする。漢字力養成にも配慮する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月 5月 6月	「現代文解法のテクニック1」評論文	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文の基礎知識を確認する。 ・設問に取り組む前にキーワードを押さえる。 ・接続語・指示語を学習し、評論文の読解に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集自己採点 ・中間考査を実施し評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な国語力(ことば、漢字、語彙力等)の確認 ・基礎的な文章読解力を見る。
7月 8月 9月	「現代文解法のテクニック1」評論文	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読解の仕方を把握する。 ・要点をまとめる練習をする。 ・段落ごとの内容を把握する。 ・評論文の頻出テーマを把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集自己採点 ・期末考査を実施し評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文を正確に読みとる力が付いてきているか。 ・評論文の主旨を理解し、自分の意見
10月 11月	「現代文解法のテクニック1」小説文	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の読解の仕方を把握する。 ・実践力をつけるために解答練習を多数行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集自己採点 ・中間考査を実施し評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小説文に合わせた読解力がついてきているか。
12月 1月 2月	「現代文解法のテクニック2」評論文	<ul style="list-style-type: none"> ・総合問題演習をすることで即戦力をつける。 ・総合的な国語力がついてきているか点検する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集自己採点 ・期末考査を実施し評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な読解力がついてきているか。
3月	「現代文解法のテクニック2」小説文	<ul style="list-style-type: none"> ・総合問題演習をすることで即戦力をつける。 ・総合的な国語力がついてきているか点検する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集自己採点 ・学年末考査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な読解力がついてきているか。

学校番号	202
------	-----

17枚のうちの6

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年(年次)	単位数	教材名等
公民	現代社会演習	3年	2単位	なし

到達目標	現代社会の諸問題・諸課題に対して正しい知識を基に冷静に判断でき、その上で、他者の意見も尊重しながら全体の合意を形成する力を身につける。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会問題や国際情勢など、現代社会における重要度の高いテーマや、生徒自身が選択した時事問題を、グループワークを通して生徒達自身で結論を導き出させ、発表させる。 ・発表を通じて、表現の振り返りと他者理解を深める。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	1. 現代社会の諸問題・諸課題	現代社会の諸問題・諸課題を探究するため、テーマ選択、調べ学習、グループ討論、発表活動を行う。	グループ発表、定期考査、課題提出状況、出席状況などを総合的に評価する。	基本事項の認識とともに、学習テーマを自らの課題として主体的にとらえられているかを評価のポイントとする。
5月				
6月				
7月	2. 現代社会における政治経済の諸問題	現代日本の諸問題について理解を深めさせるとともに、日本のこれからのあり方について議論を深めさせる。 具体的な時事テーマを挙げて活動をおこなう。		
8月				
9月				
10月				

<p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>	<p>3. 個人の尊重と法の支配</p> <p>4. 経済のしくみと私たちの生活</p>	<p>個人の尊重と法の支配について具体的な事柄を取り上げ、それぞれの理解を深めさせるとともに、そのあり方について議論を深めさせる。</p> <p>経済のしくみを理解し、私たちの生活とのかかわりを考える。</p> <p>財政政策や金融政策、株式会社の活動、消費や投資などをテーマに、そのあり方を私たちの生活との関わりを考えながら具体的に議論する。</p>	<p>グループ発表、定期考査、課題提出状況、出席状況などを総合的に評価する。</p> <p>基本事項の認識とともに、学習テーマを自らの課題として主体的にとらえられているかを評価のポイントとする。</p>
	<p>5. 国際社会の理解と日本の役割</p> <p>6. 社会のあり方と自己の生き方</p>	<p>国際社会においては、国ごとに幸福・正義・公正の観念が異なることを理解することに加え、国際平和を目指す上での日本の役割について議論を深めさせる。</p> <p>さまざまな哲学や宗教の思想に触れるとともに、どのような社会を形成していくべきか、また、その中で自己の生き方はどうあるべきかを考えさせ、生徒ひとりひとりの意見を発表させる。</p>	<p>グループ発表、定期考査、課題提出状況、出席状況などを総合的に評価する。</p> <p>基本事項の認識とともに、学習テーマを自らの課題として主体的にとらえられているかを評価のポイントとする。</p>

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
数学	基礎数学	第2学年	2単位	なし

到達目標 ※	初等数学を理解するために必要な内容について広く復習し、知識の定着と技能の習熟を図る。
到達目標にむけての 具体的な取り組み 【指導上の留意点】	問題解決の過程を大切に、多面的に考察する機会をできるだけ多くもつ。

月	単元・教材 名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	図形	比	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 ノート点検 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 比の概念・計算方法を理解し、適切に扱うことができる。 三角形の外心・内心・重心の性質等を理解し、適切に扱うことができる。 比の概念、三角形の性質を複合的に用いて適切な計量を行うことができる。
5月		三角形の性質		
6月		分数の計算	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 ノート点検 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 分数の四則計算を理解し、適切に処理することができる。 円周角の定理を理解し、適切に扱うことができる。 四角形が円に内接するとき成り立つ性質を理解し、適切に扱うことができる。 円の接線の性質を理解し、適切に扱うことができる。
7月		三角形の性質 円の性質		
8月		1次方程式・2次方程式	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 ノート点検 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 等式の性質や移項を用いて1元1次方程式を解くことができる。 因数分解などを用いて、式を目的に応じた変形し、2次方程式を解くことができる。 平面図形の計量のための計算手法を理解し、適切に扱うことができる。 四角形・円などを組み合わせた複合的な問題にも意欲的に取り組むもうとする。
9月		平面図形の面積		
10月		1次不等式	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 ノート点検 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 不等式の性質や移項を用いて1元1次不等式を解くことができる。 角柱・円柱および角錐・円錐のような立体図形の体積を求めることができる。 角柱や円柱の表面積の求め方を理解し、処理することができる。
11月				
12月		立体の体積と表面積		
1月		データの分析	小数の計算	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 ノート点検 学年末考査
2月	データの分析			
3月				

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
数学	基礎数学演習	第3学年	2単位	なし

到達目標 ※	基本的な計算と数学Ⅰ・Aや高校数学で学ぶ内容について広く学習し、知識の定着を図り、各々の生徒の進路実現に結びつける。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	問題解決の過程を大切に、多面的に考察する機会をできるだけ多くもつ。 また、実際の就職試験問題を授業に取り入れる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント	
4月	数学B 就職対策	等差数列 四則計算 割合の計算	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの中から等差数列を見つけ出すことができる。 ・等差数列の一般項を求めることができる。 ・割合の概念を理解し、百分率と歩合を的確に活用することができる。 	
5月					
6月		等差数列 速さの計算	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・等差数列の一般項を求めることができる。 ・具体的な計算から等差数列の和の公式を導出し、和を計算することができる。 ・速さ、距離、時間を利用してそれぞれを求めることができる。 	
7月					
8月		等比数列 濃度計算	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの中から等比数列を見つけ出すことができる。 ・等比数列の一般項を求めることができる。 ・割合の概念を利用し、濃度計算ができるようになる。 	
9月					
10月					
11月		数学Ⅰ 就職対策	等比数列 命題と証明 最大公約数 最小公倍数 倍数判定	平素の学習意欲・学習態度 出席状況 課題提出 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・複利計算について単利との違いを理解し、等比数列の和の公式を用いて計算することができる。 ・必要条件と十分条件の意味を理解し、その考え方を活用することができる。
12月					
1月		数学A 就職対策	n進法 虫食い算	平素の学習意欲・学習態度 出席状況	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの中にn進法が利用されている

			課題提出 学年末考査	ことを見つけて出すことができる。 ・ n 進法のしくみを理解し、計算を手順をふ んで行うことができる。
2月				
3月				

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
数学	数学演習A	3年次	2	独自の学習プリント

到達目標 ※	基本的な計算と数学 I ・ A で学んだ内容について広く復習し、暗記だけではなく物事を論理的に考察する力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	問題解決の過程を大切に、多面的に考察する機会を多くもつ。 また、自身でできるまで繰り返し、達成感を得る機会を増やす。

月	単元・教材	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	数学 I	四則演算 1 次方程式・連立方程式 2 次方程式 方程式の文章題 濃度の問題・速さの問題 1 次不等式・2 次不等式	中間考査・期末考査 課題提出 平素の学習意欲・学習態度 出席状況	<ul style="list-style-type: none"> 数と式についての的確に処理でき、種々の方程式を解くことができる。 事象を論理的に捉えて数式に変換し、問題解決をすることができる。
5月				
6月				
7月				
8月	数学 A	順列・組合せ 確率	中間考査・期末考査 課題提出 平素の学習意欲・学習態度 出席状況	<ul style="list-style-type: none"> 事象を論理的に捉えて数式に変換し、問題解決をすることができる。 具体的な事象の考察を通して順列、組合せおよび確率についての基本的な考え方を理解し、事象を数学的に考察し処理することができる。
9月				
10月				
11月				
12月	看護・医療系専門学校入学試験 過去問題演習		学年末考査 課題提出 平素の学習意欲・学習態度 出席状況	<ul style="list-style-type: none"> これまで学んだ内容を総括し、総合かつ複合的な課題に取り組むことができる。
1月				
2月				
3月				

学校番号	202
------	-----

17枚のうち10

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
数学	数学演習B	第3学年	2単位	なし

到達目標 ※	数学Iおよび数学Aで学んだ内容について補充・深化し、知識の定着と技能の習熟を図る。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	機械的な技法の習得だけに留まらず、数学を通じて、将来社会に出たときに通用する「問題解決に向けた論理的思考力」を養うように展開する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	一次関数 二次関数	・一次関数とそのグラフ	中間考査、期末考査	数の大小の基本的な性質を理解しそれを応用して問題解決をする。 二つの数量の関係に着目し日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え問題を解決する。
5月		・二次関数とそのグラフ	課題提出	
6月		・二次関数の応用	平素の学習意欲・学習態度	
7月		・二次不等式とその応用	出席状況	
8月	三角比	・三角比の値と計算	中間考査、期末考査	鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 図形の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決する。
9月		・三角比を用いた測量	課題提出	
10月		・正弦定理、余弦定理を利用した計算	平素の学習意欲・学習態度 出席状況	
11月	約数と倍数 整数の性質 実数の分類	・素因数分解	学年末考査	数を実数まで拡張する意義を理解する。 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現する。
12月		・公約数、公倍数	課題提出	
1月		・実数の分類	平素の学習意欲・学習態度	
2月			出席状況	
3月				

「学校設定科目」届（指導と評価の年間計画）

教科	科目	開設学年	単位数	教材名等
保健体育	ライフスポーツ	第3学年	2単位	なし

到達目標	生涯を通じて、誰でもどこでも自分にあったスポーツが出来るように、幅広い内容のスポーツの基礎を経験し、その実践を通してスポーツに対する興味
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが今まであまり経験していない種目を準備し、経験させる。 基礎と平行して簡易ゲームを導入するなど、種目のおもしろ味を体験させる。 用具管理・準備・片付けなど、自主的に進められるようにする。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4	・オリエンテーション	1. 授業の進め方・目標の説明	・観察	・授業に意欲的に取り組もうとしているか。 (関心、意欲、態度)
5	・新体カテスト	2. 各種目の要点説明 用具・到達目標の説明	・スキルテスト	・準備から片付けまで自主的に参加しているか。 (思考、判断、態度)
6	・種目体験 バスケットボール	3. 基礎練習 4. 簡易ルール作成	・班別評価	・基礎技術の修得。 (技能、表現、理解)
7	ソフトバレーボール ハンドボール ・体育理論	5. 班分け・試しのゲーム 6. ゲームを楽しむ為の最低限必要な技術の確認と練習 7. 簡易ゲーム	・レポート課題	・ルール、種目の特性の理解度。 (知識、思考、理解)
夏 季 休 業				
8	・生徒による授業実習	1. 授業の進め方・目標の説明	・観察	・授業に意欲的に取り組もうとしているか。 (関心、意欲、態度)
9	・種目体験 バドミントン	2. 各種目の要点説明 用具・到達目標の説明 3. 基礎練習	・スキルテスト	・準備から片付けまで自主的に参加しているか。 (思考、判断、態度)
10	バレーボール アルティメット	4. 簡易ルール作成 5. 班分け・試しのゲーム	・班別評価 ・レポート課題	・準備から片付けまで自主的に参加しているか。 (思考、判断、態度)
11		6. ゲームを楽しむ為の最低限必要な技術の確認と練習	・観察	

1 2		<p>7. 簡易ゲーム</p> <p>8. 経験した種目の中から自分に合う物を選択しより深めていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト ・ゲーム評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術の修得。 (技能、表現、理解) ・ルール・種目の特性の理解度。 (知識、思考、理解)
冬 季 休 業				
1	・ 選択種目の実施	9. ゲーム 自主的に運営し決められたルールの下で楽しめるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ゲーム評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの理解 (知識、思考、理解) ・自主運営が出来ているか。 (意欲、態度、知識理解、思考、判断)
2				

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
芸術	陶芸	第3学年	2単位	プリント

到達目標 ※	<ul style="list-style-type: none"> 機能と美しさを理解し、計画的に手順をふみ根気強く丁寧に制作する態度を養う。 いくつかの陶芸の制作技法を学び、最終的にオリジナルな作品の主体的な制作
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> 主体的かつ計画的な活動を促すために、制作計画書及び行動記録書を作成させる。 個々の創作意欲を満たす多様な表現に対応できるよう、いくつかの技法を具

月	単元・教材	指導内容	評価方法	評価のポイント
4	陶芸の導入	<ul style="list-style-type: none"> 土練りの練習(荒練り) 	<ul style="list-style-type: none"> 土練りのテスト 	<ul style="list-style-type: none"> 作陶に関心を持ち、意欲的にとりくもうとしているか
5	手びねり (ひもづくり)	<ul style="list-style-type: none"> ひもづくりによる成形の器 	<ul style="list-style-type: none"> ひも作りのテスト アイデアスケッチ 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的かつ計画的に制作しているか
6		<ul style="list-style-type: none"> 表面装飾(レリーフ、型押し文) 	<ul style="list-style-type: none"> 取組み状況 作品 計画書、記録書 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく土練ができているか 基本的な技法を正しく理解しているか
7	たたら作り (板づくり)	<ul style="list-style-type: none"> たたら作りによる成形の食器製作 皿 カップ 		<ul style="list-style-type: none"> 根気強く丁寧に制作しているか 成形方法のそれぞれのよさに気づき、機能性と美しさを理解できたか
8		<ul style="list-style-type: none"> 表面装飾(線文) 素焼き、下絵付け 施釉 鑑賞 		
9		<ul style="list-style-type: none"> 土練りの練習(菊練り) 	<ul style="list-style-type: none"> 菊練りのテスト 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的かつ計画的に制作しているか
10		<ul style="list-style-type: none"> ろくろ成形の器制作 湯のみ カップ(取っ手付) 	<ul style="list-style-type: none"> アイデアスケッチ 取組み状況 作品 計画書、記録書 	<ul style="list-style-type: none"> 道具、技法について正しく理解しているか
11	ろくろづくり	<ul style="list-style-type: none"> 鉢 絵付け 施釉 鑑賞 		<ul style="list-style-type: none"> ろくろ成形作品の良さに気づき、機能性と美しさを理解できたか
12				

1	自由制作	<ul style="list-style-type: none"> •学んだ技法の中から各自のテーマに合った表現技法を選択し制作する 	<ul style="list-style-type: none"> •アイデアスケッチ •取組み状況 •作品 •計画書、記録書 	<ul style="list-style-type: none"> •主体的かつ計画的に制作しているか •自分のイメージを表現するためにふさわしい技法を選択しているか •根気強く制作しているか •機能性を保ちつつオリジナリティある作品になっているか •自他の作品についてそれぞれのよさに気付いたか
---	------	--	--	--

学校番号	202
------	-----

17枚のうち13

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
芸術	実用書	第3学年	2単位	ペン字習字教範・プリント

到達目標 ※	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中の様々な書、実用書の効用を理解し、その表現形式・表現方法を習得する。 日本文化の一つである書に親しみ、生涯にわたり愛好する心情を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> 楷書を中心に基本点画や字形の取り方を学び、書写能力の向上を図る。 小筆(筆ペン)の用筆を習得し、熨斗袋・葉書の書き方を学ぶ。 作品の制作過程において手書き文字の良さに触れ、達成感や愛着心を育む。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月 5月 6月 7月	硬筆 ・基本的な執筆法 ・漢字の構造美 ・漢字仮名のバランス ・名前を美しく書く ・履歴書を書く	<ul style="list-style-type: none"> ペン字習字教範を中心に、楷書の美しい字形の取り方や正しい筆順を習得する。 ゆっくりと丁寧に書く。 4、5月に学んだことを活かし、発展させる。 履歴書の書き方を習得し、丁寧に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 観察 ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な執筆・運筆法を習得できているか。 丁寧であるか。 名前を大切に書いているか。 履歴書の正しい書き方を習得できているか。
8月 9月 10月 11月	小筆(筆ペン) ・基本的な執筆法 ・様々な線の表現法 ・熨斗袋の使い方 ・表書きを書く ・名前を美しく書く 硬筆(ボールペン) ・手紙と葉書の書き方	<ul style="list-style-type: none"> 小筆(筆ペン)の扱い方に慣れ、その用筆・運筆を習得する。 様々な線の表現法を身に付け、効果的に使う。 熨斗袋の種類と正しい使い方を学ぶ。 表書きと名前の書き方を習得する。 封筒と葉書の基本的な書き方を習得する。 時候の挨拶の書き方などの知識を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 観察 ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> 小筆(筆ペン)の基本的な執筆・運筆法を習得できているか。 熨斗袋の正しい使い方を理解できているか。 封筒と葉書の正しい書き方を習得できているか。 丁寧であるか

12月	自分印の制作 ・文字調べ	<ul style="list-style-type: none"> ・名前の中から好きな一字を選び、印に使用する篆書体を調べる。 ・逆字になるように転写する。 ・印刀を正しく扱い、丁寧に刻す。 ・押印と補刀を繰り返し、完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・観察 ・ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習したことを活かし、意欲的に取り組んでいるか。 ・丁寧に一つ一つの工程をこなしているか。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・石に文字を転写する ・石を刻す 			
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・押印 			
3月				

学校番号

202

17枚のうちの14

「学校設定科目」届（指導と評価の年間計画）

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
外国語	英語総合	第2学年	2単位	英語速読10分間テスト Accel Reading 1

到達目標	基礎的な文法と文章読解中心の授業を通じて総合的な英語運用能力（聞く、話す、読む、書く、文法理解）の習得を目標とする。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	週2時間の授業の内、1時間はある文法項目を中心とした英会話の授業を行い、次の1時間間は同文法項目の理解を更に深めるための練習問題、演習問題を行う。

月	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法	評価の観点
4	・ Lesson 01 評論・文化	be-動詞の文	・ 授業観察	・ 積極的に授業に
5	・ Lesson 02 会話・学校生活	一般動詞の文	・ 発表	参加しているか
	・ Lesson 03 評論・歴史	疑問詞疑問文	・ 提出物	・ ターゲットの表
6	・ Lesson 04 メール・招待と返事	文型①	・ 宿題	現を使って英語
	・ Lesson05 会話・漫画	文型②	・ プリント	で表現できるか
7	・ Lesson 06 評論・動物	進行形	・ 授業出席状況	・ 提出物を完成で
8			・ 定期考査	きるか
9	・ Lesson 07 手紙・文通	「未来」の表し方		・ 英文を正確に理
	・ Lesson08 評論・科学	現在完了形		解できているか。
10	・ Lesson 09 フォーラム・教育	助動詞		・ 文法を理解し、使
11	・ Lesson 10 会話・テクノロジー	受け身		用することができるか。
	・ Lesson 11 評論・日本文化	to不定詞①		
12	・ Lesson 12 評論・インターネット	to不定詞②		
1	・ Lesson 13 インタビュー・芸能	動名詞		

	・ Lesson 14 評論・文化	分詞		
2	・ Lesson 15 小説	比較		

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
外国語	英語読解基礎	第2学年	2単位	OASIS 1

到達目標	<p>平易な文法・単語を用いて書かれた150語程度の英文を</p> <p>(1) 読んで理解しようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 声に出して読めるようになる。</p> <p>(3) 聞いて、内容に関する質問への受け答えができる。</p>
到達目標に向けての 具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の内容に関する背景知識を広げる。 ・逐語訳に時間をかけず、読解を助けるための発問を工夫する。 ・音読やリスニングの時間を確保する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント	
4月	・ Lesson 1 携帯電話の良い点悪い点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動作を表す基礎的な単語(kick, cry, say, eat, play など)に慣れ親しむ 	出席 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の発問やテキストの問題に対する答えは、英文の何行目を見ればよいか、答えることができるか 	
5月	・ Lesson 2 日本式と欧米式のドアの違い ・ Lesson 3 トムのいたずら				<ul style="list-style-type: none"> ・ 色に関する単語(blue, black, yellow, white など)に慣れ親しむ ・ ペットと関わる場面でよく使われる単語(climb, hide, feed, meow など)に慣れ親しむ
6月	・ Lesson 4 ホワイトさんが退職	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキャニング(特定の語を探して読む)スキルを実践する ・ 時間の流れに注意して読む 	イルの提出 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文を音読しようとしているか 	
7月	・ Lesson 5 風邪と入浴の関係 ・ Lesson 6 贈り物をする時に気をつけること				<ul style="list-style-type: none"> ・ 体の部位に関する単語(nose, ear, claw, paw など)に慣れ親しむ
8月	・ Lesson 7 規則的な朝食の大切さ				<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の身支度に関する語句(get up, put on, take off など)に慣れ親しむ
9月	・ Lesson 8 5円玉のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親族を表す単語(grandmother, cousin, Daddy など)に慣れ親しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き取れた語句を、声に出して再現できているか 	
10月	・ Lesson 9 介助犬のためにできること				<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の教科に関する単語(PE, science など)に慣れ親しむ
11月	・ Lesson 10 手塚治虫が漫画家になるまで	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体調管理に関する語句(medicine, fever, hurt など)に慣れ親しむ ・ 手紙の形式に慣れ親しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回の授業中の 	
12月	・ Lesson 11 魚が餌をかぎつける方法				

	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 12 手紙と電話のそれぞれの良さ 	<ul style="list-style-type: none"> 時間帯や時期を表す語に注意して読む 登場人物の個性を対比させて読む 順序を表す語に注意して読む 	活動に積極的に取り組んでいるか。
1月	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 13 フェアトレード 	<ul style="list-style-type: none"> 親戚の集まりやホームパーティーなどに関する語句 (relative, dish, flower など) に慣れ親しむ 動詞の過去形に慣れ親しむ 海外の風習や観光名所などに慣れ親しむ 時制の変化に注意して読む 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 14 次の王様選び方 		
3月	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 15 動物福祉センターで学んだこと 		

「学校設定科目」届（指導と評価の年間計画）

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
外国語	チャレンジ英語	第3学年	2単位	raise 2

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、文法力、読解力、作文力を養う。 ・英検等に対応できるリスニング力、英会話力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文法教材を使い、受験に対応できる読解力、作文力のための基本的な文法力を養う。 ・様々な読み物を使い、読解力を養う。 ・英語検定の模擬面接等を行い、資格検定に興味を持たせると同時に、検定に対応できる力を養う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4	Lesson 1 Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ・文の種類 ・文型 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出プリント ・単語テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の出来 ・積極性 ・単語テストの結果
5	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> ・時制① 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出プリント ・単語テスト ・中間テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の出来 ・積極性 ・単語テストの結果 ・中間テストの結果
6	Lesson 4 Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・時制② ・時制③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出プリント ・単語テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント、ワークシートの出来 ・積極性 ・単語テストの結果
7 8	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞① 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出プリント ・単語テスト ・期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の出来 ・積極性 ・単語テストの結果 ・期末考査の結果
9	Lesson 7 Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞② ・受動態 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出プリント ・単語テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の出来 ・積極性 ・単語テストの結果
10	Lesson 9 Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞① ・不定詞② 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出プリント ・単語テスト ・中間テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の出来 ・積極性 ・単語テストの結果 ・中間テストの結果
11	Lesson 11 Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞 ・分詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出プリント ・単語テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の出来 ・積極性 ・単語テストの結果

1 2	Lesson 13	<ul style="list-style-type: none"> • 比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出プリント ・ 単語テスト ・ 期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物の出来 ・ 積極性 ・ 単語テストの結果 ・ 期末考査の結果
1 2	Lesson 14 Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> • 関係詞① • 関係詞② 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出プリント ・ 単語テスト ・ 学年末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物の出来 ・ 積極性 ・ 単語テストの結果 ・ 学年末考査の結果

「学校設定科目」届（指導と評価の年間計画）

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
外国語	実用英会話	第3学年	2単位	なし

到達目標	海外旅行に行っても困らないような基本的なリスニング力、会話力を身につける。 失敗を恐れずに英語を話せるようになる。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	・ 毎回、様々なシチュエーションを題材にあげ、会話練習を行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4	自己紹介	1. 外国人指導助手の自己紹介 2. 自己紹介作り 3. ペアワーク	・ 提出プリント ・ 発言 ・ ペアワークの活動状況	・ 応答 ・ 積極性 ・ プリント、ワークシートの出来
5	機内での会話 入国審査	1. ワークシートでそれぞれのシチュエーションに応じた模擬会話を学ぶ 2. ペアワーク	・ 提出プリント ・ 発言 ・ ペアワークの活動状況	・ 応答 ・ 積極性 ・ プリント、ワークシートの出来
6	家族紹介 レストランでの注文方法	1. ワークシートでそれぞれのシチュエーションに応じた模擬会話を学ぶ 2. ペアワーク	・ 提出プリント ・ 発言 ・ ペアワークの活動状況	・ 応答 ・ 積極性 ・ プリント、ワークシートの出来
7	道案内 銀行での会話	1. ワークシートでそれぞれのシチュエーションに応じた模擬会話を学ぶ 2. ペアワーク	・ ワークシート	・ ワークシートの出来 ・ ペーパーテストの結果

9	夏休みの思い出 ホテルを予約する	1. ワークシートでそれぞれのシチュエーションに応じた模擬会話を学ぶ 2. ペアワーク	・提出プリント ・発言 ・ペアワークの活動状況	・応答 ・積極性 ・プリント、ワークシートの出来
10	外国紹介	1. スピーチの原稿提出 2. スピーチ発表練習 3. スピーチ発表 4. スピーチ理解	・提出プリント ・発言 ・スピーチの練習状況	・応答 ・積極性 ・プリント、ワークシートの出来
11	Show & Tell	1. Show & Tell 題材集め 2. Show & Tell 原稿作成	・提出プリント ・発言 ・スピーチの発表	・応答 ・積極性 ・プリント、ワークシートの出来 ・スピーチ発表
12	Show & Tell	3. Show & Tell 練習 4. Show & Tell 発表	・提出プリント ・発言 ・スピーチ作成状況	内容 ・積極性 ・ワークシートの出来 ・ペーパーテストの結果
1	ディベート	さまざまな課題について、賛成・反対に別れ、英語で自分の意見を述べる	・提出プリント ・発言 ・グループワークの活動状況	・応答 ・積極性 ・プリント、ワークシートの出来